

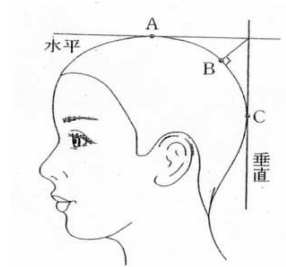
H17・春

- 問題1 頭部の基準となるポイントの次の組み合わせのうち、正しいものはどれか。
- ① トップポイント・・・・・・前頭部の生え際と正中線の交わった点
 - ② バックポイント・・・・・・正中線上で後頭部の一番凸の部分
 - ③ ゴールデンポイント・・・・・・頭部の頂点で正中線上の点
 - ④ ネーブポイント・・・・・・耳のつけ根の上の部分

H17・夏

- 問題2 右図は頭部の基準となるポイントを示した図である。
次のA、B、Cの各部の名称の組み合わせのうち、正しいものはどれか。

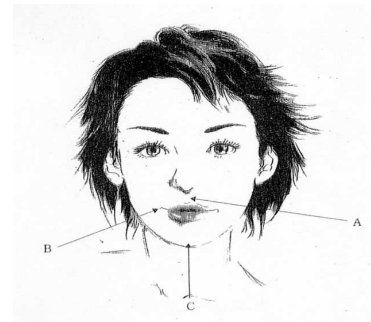
- | A | B | C |
|------------|-----------|-----------|
| ① フロントポイント | ゴールデンポイント | バックポイント |
| ② トップポイント | バックポイント | ゴールデンポイント |
| ③ トップポイント | ゴールデンポイント | バックポイント |
| ④ フロントポイント | トップポイント | ゴールデンポイント |



H18・夏

- 問題3 右図は顔部の名称を表したものである。次のA、B、Cに該当する語句の組み合わせのうち、正しいものはどれか。

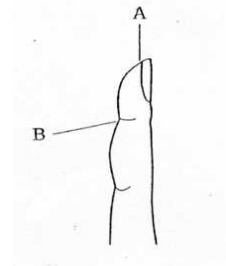
- | A | B | C |
|------|----|--------|
| ① 人中 | 口裂 | オトガイ |
| ② 人中 | 口角 | オトガイ |
| ③ 鼻唇 | 口角 | 口裂 |
| ④ 人中 | 口裂 | オトガイ唇溝 |



H21・春

- 問題4 右図は手指を表したものである。次の美容用語としてA、Bに該当する語句の組み合わせのうち、正しいものはどれか。

- | A | B |
|------|------|
| ① 指先 | 第1関節 |
| ② 指頭 | 第3関節 |
| ③ 指腹 | 第1関節 |
| ④ 指先 | 第3関節 |



H21・夏

- 問題5 美容技術を行ううえで頭部の基準となるポイントに関する次の記述のうち、正しいものはどれか。
- ① フロントポイントとは、前頭部の生え際と正中線の交わった点をいう。
 - ② ゴールデンポイントとは、頭部の頂点で正中線上の点をいう。
 - ③ ネーブポイントとは、正中線上後頭部の一番凸の部分のいう。
 - ④ バックポイントとは、正中線と襟足が交差した部分をいう。

H22・夏

- 問題6 美容用語とその説明に関する次の組み合わせのうち、誤っているものはどれか。
- ① ヘムライン・・・・・・デザインによってできた毛髪と顔や首との境
 - ② フロントライン・・・・・・鬢（びん）の生え際
 - ③ トップポイント・・・・・・正中線上で頭部の頂点
 - ④ バックポイント・・・・・・正中線上で後頭部の一番凸の部分

H24・夏

- 問題7 作業点と姿勢に関する次の文章の（ ）内に入る語句の組み合わせのうち、正しいものはどれか。
『技術を施す個所に（ A ）して作業することが、正しい（ B ）の基本である。また、（ C ）の高さにおいて技術を施すことが望ましい。』

- | A | B | C |
|------|----|----|
| ① 並行 | 姿勢 | 肩 |
| ② 正対 | 技術 | 目 |
| ③ 並行 | 技術 | 腕 |
| ④ 正対 | 姿勢 | 心臓 |

H25・春

問題8 頭部の基準となるポイントに関する次の記述のうち、正しいものはどれか。

- ① トップポイントとは、前頭部の生え際と正中線の交わった点をいう。
- ② ゴールデンポイントとは、正中線上で頭部の頂点をいう。
- ③ バックポイントとは、正中線上で後頭部の一番凸の部分进行いう。
- ④ ネーブポイントとは、耳のつけ根の上の部分进行いう。

H25・夏

問題9 美容における頭部の区分に関する次の記述のうち、正しいものはどれか。

- ① バックポイントとは、正中線上で後頭部の一番凸の部分进行いう。
- ② ゴールデンポイントとは、頭部の頂点で正中線上の点をいう。
- ③ ヘムラインとは、フロントラインとサイドライン进行いう。
- ④ トップポイントとは、前頭部の生え際と正中線の交わった点をいう。

H26・春

問題10 下図は顔部の名称を表したものである。次のA、B、Cに該当する語句の組合せのうち、正しいものはどれか。

- | | A | B | C |
|---|----|-----|--------|
| ① | 鼻翼 | 人中 | オトガイ |
| ② | 鼻背 | 人中 | オトガイ唇溝 |
| ③ | 鼻翼 | 鼻唇溝 | オトガイ唇溝 |
| ④ | 鼻背 | 鼻唇溝 | オトガイ |



H26・夏

問題11 顔部の部位に関する次の記述のうち、正しいものはどれか。

- ① 上眼瞼は、眼球の下に位置する。
- ② 口角は、人中の上に位置する。
- ③ 眉間は、左右の眉毛の中間に位置する。
- ④ 鼻唇溝は、鼻根から口角につながる溝である。

H27・夏

問題12 次の文章の（ ）内に入る語句の組合せのうち、正しいものはどれか。

「頭部の基準となるゴールデンポイントは、（ A ）を通る水平線と（ B ）を通る垂直線が交差するところから頭皮に（ C ）に下ろした（ D ）上の点である。」

- | | A | B | C | D |
|---|----------|---------|-----|-----|
| ① | フロントポイント | バックポイント | 45度 | 正中線 |
| ② | トップポイント | ネーブポイント | 45度 | 水平線 |
| ③ | トップポイント | バックポイント | 90度 | 正中線 |
| ④ | フロントポイント | ネーブポイント | 90度 | 水平線 |

H28・夏

問題13 美容技術における作業姿勢に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

- ① 安定した姿勢をとるためには、技術者の重心から下ろした垂線が、両足に囲まれた領域内にあることが必要である。
- ② 不安定な姿勢は、疲労を早め、作業効率低下の原因となる。
- ③ ワインディング技術は、施術部位に正対して作業をすることが基本である。
- ④ 肩の関節を固定させて手を動かすときは、肘をまっすぐに伸ばして作業すると効率的である。

H29・春

問題14 美容用語とその説明に関する次の組合せのうち、正しいものはどれか。

- ① フロントポイント・・・・・・髪（びん）の生え際
- ② ゴールデンポイント・・・・・・頭部の正中線上の頂点
- ③ サイドライン・・・・・・額の生え際
- ④ ヘムライン・・・・・・デザインによってできた毛髪と顔や首との境

H29・夏

問題15 美容における頭部の区分と名称に関する次の記述のうち、正しいものはどれか。

- ① ゴールデンポイントとは、正中線上で後頭部の一番凸の部分进行う。
- ② フロントポイントとは、前頭部の生え際と正中線の交わった点进行う。
- ③ フェイスラインとは、毛髪と顔や首との境目进行う。
- ④ バックポイントとは、正中線と襟足が交差した点进行う。

H30・春

問題16 次の名称のうち、人体の頭部にないものはどれか。

- ① ルヌーラ
- ② 人中
- ③ オトガイ
- ④ 鼻唇溝

H30・後期

問題17 美容における頭部の区分とその基準となるポイントに関する次の文章の（ ）内に入る語句の組合せのうち、正しいものはどれか。

『頭部の生え際を（ A ）、デザインによってできた毛髪と顔や首との境を（ B ）とよぶ。また、頭部の頂点で正中線上の点を（ C ）、正中線上で後頭部の一番凸の部分进行（ D ）という。』

- | A | B | C | D |
|-----------|---------|----------|-----------|
| ① フロントライン | ヘムライン | フロントポイント | ゴールデンポイント |
| ② ヘアライン | ヘムライン | トップポイント | バックポイント |
| ③ フロントライン | フェイスライン | トップポイント | ゴールデンポイント |
| ④ ヘアライン | フェイスライン | フロントポイント | バックポイント |

H31・前期

問題18 美容技術における作業姿勢に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

- ① 立位作業で安定した姿勢をとるためには、技術者の重心から下ろした垂線が両足に囲まれた領域内にあることが必要である。
- ② シャンプーイングなどの前傾姿勢は、頭部の位置が不自然なため、首や肩、腰の筋肉に負担がかかる。
- ③ パーマネント技術のワインディングでは、顧客の頭部が技術者の目の高さにあることがよい。
- ④ 肩の関節を固定させて手を動かす作業では、肘を伸ばして作業するより、肘に余裕をもたせたほうが作業が容易である。

H31・後期

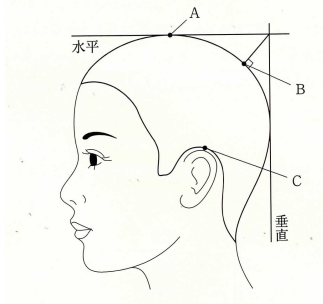
問題19 頭部の名称に関する次の記述のうち、正しいものはどれか。

- ① オトガイは、下唇の下に位置する。
- ② 鼻唇溝は、鼻根から口角につながる溝である。
- ③ 鼻翼は、鼻尖と上唇の間に位置する。
- ④ 眉間は、眉毛と上眼瞼の中間に位置する。

R4 後期

問題20 下図は、頭部の基準となるポイントを表したものである。ABCに該当する名称の次の組み合わせのうち、正しいものはどれか。

- | A | B | C |
|-------------|-----------|-----------|
| ① ゴールデンポイント | トップポイント | イヤーパーポイント |
| ② トップポイント | ゴールデンポイント | イヤーパーポイント |
| ③ ゴールデンポイント | トップポイント | ネーブポイント |
| ④ トップポイント | ゴールデンポイント | ネーブポイント |



R5 前期

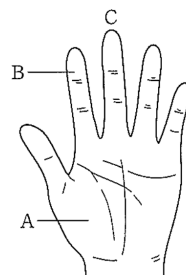
問題21 美容技術における作業姿勢に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

- ① 立位作業を行うときは、技術者の重心から下ろした垂線が両足に囲まれた領域内にあると姿勢が安定する。
- ② 技術を施す箇所に正体して作業をすることが、正しい姿勢の基本である。
- ③ パーマネントウェーブ技術でロッドを巻くときは、頭部が技術者の目の高さとなるようにする。
- ④ 肩の関節を固定させて手を動かす作業を行うときは、肘に余裕を持たせて手先を動かすと良い。

R6 前期

問題22 下図は、手掌を表したものである。A、B、Cに該当する名称の次の組合せのうち、正しいものはどれか。

- | | A | B | C |
|---|-----|----|----|
| ① | 小指球 | 指先 | 中指 |
| ② | 母指球 | 指腹 | 中指 |
| ③ | 小指球 | 指腹 | 環指 |
| ④ | 母指球 | 指先 | 環指 |



R6 後期

問題23 頭部のポイントとヘアラインに関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

- ① 頭部の生え際をヘアラインという。
- ② 頭部の頂点で正中線上の点をゴールデンポイントという。
- ③ 鬢（びん）の生え際をサイドラインという。
- ④ 正中線上で後頭部の一番凸の部分をバックポイントという。

H17・夏

問題1 美容用具に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

- ① メイクアップ用ブラシには、ボタン刷毛や板刷毛、水刷毛などがある。
- ② セニングシザーズは、静刃の目数が多いほど1度に多くそぐことができる。
- ③ 替刃式レザーの刃縁は、内曲線状のものがよい。
- ④ ハンドドライヤーは、一般にブロータイプである。

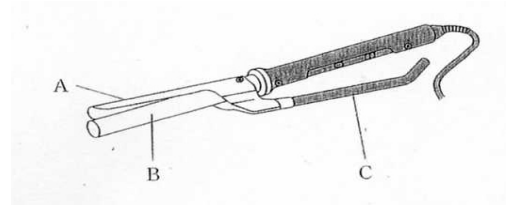
H18・春

問題2 右図はヘアアイロンの各部の名称について示した図である。

次のA、B、Cの各部の名称の組み合わせのつち、正しいものはどれか。

A B C

- ① ロッド・・・・・・・・・・グループ・・・・・・・・・・グループハンドル
- ② グループ・・・・・・・・・・スクリュー・・・・・・・・・・ロッドハンドル
- ③ グループ・・・・・・・・・・サーモスタット・・・・・・・・・・スクリュー
- ④ グループ・・・・・・・・・・ロッド・・・・・・・・・・グループハンドル



H19・春

問題3 コームに関する次の記述のうち、正しいものはどれか。

- ① 歯先は、頭皮に接して毛髪を引き起こす手引きをする。
- ② 歯元は、コーム全体の支えとなり、バランスをとる。
- ③ 歯は、コームの目に入った毛髪を一線にそろえる。
- ④ 胴は、引き起こされた毛髪を垂直に立てて両側から支える。

H19・夏

問題4 シザーズに関する次の記述のうち、正しいものはどれか。

- ① シザーズを閉じたときに鋏身の裏にあきがなく、動刃と静刃が密着しているものを選定するとよい。
- ② 小指掛のあるシザーズでは、動刃は小指掛のある方の刃になる。
- ③ アールシザーズは、一度の操作で毛髪を適度に梳くことができる。
- ④ 一般にミニシザーズと呼ばれているものは、細かいカットがしやすい。

H20・春

問題5 レザーに関する次の記述のうち、正しいものの組み合わせはどれか。

- a 替刃のレザーは、刃をホルダーに取り付けて用いるものである。
- b 安全カバーの付いた替刃のレザーは、横すべりして切りすぎる危険がある。
- c 本レザーの刃は、直線状または内曲線状につくられている。
- d レザーは、バックとエッジが平行でねじれていないものがよい。

- ① a と b
- ② b と c
- ③ c と d
- ④ a と d

H20・夏

問題6 ブラシに関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

- ① ヘアブラッシング用は、ある程度硬くて弾力のあるものを用いる。
- ② 毛払いブラシは、獣毛やナイロン製のやわらかくて毛足の長いものを用いる。
- ③ テンションを効かしたブロードライスタイリングを行う場合は、目の粗いブラシを用いる。
- ④ ブロードライスタイリングは、耐熱性のブラシを用いる。

H21・夏

問題7 コームに関する次の記述のうち、正しいものはどれか。

- ① 歯先は、コームの目に入った毛髪を一線にそろえるはたらきをする。
- ② 歯は、引き起こされた毛髪を垂直に立てて両側から支え、そろえるはたらきをする。
- ③ 歯元は、コーム全体の支えとなり、バランスをとるはたらきをする。
- ④ 胴は、頭皮に接して毛髪を引き起こす手引きをする。

H23・春

- 問題 8 コームに関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。
- ① 歯元は、頭皮に接して毛髪を起こす手引きをする。
 - ② 消毒の際に消毒液に長くつけすぎると、コームが曲がる場合があるので注意する。
 - ③ 消毒は、蒸気消毒や煮沸消毒を避ける。
 - ④ 凹凸やねじれがなく、全体の厚みが均等のものがよい。

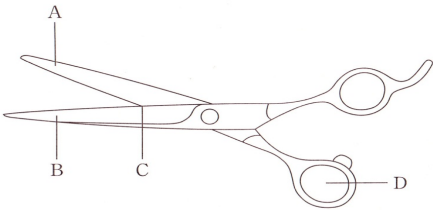
H23・夏

- 問題 9 美容用具に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。
- ① クリッパーは、シザーズと同じようにスライスした毛束をカットすることができる。
 - ② トリマーは、刃が小さくネーブ処理に適している。
 - ③ レザーの刃は、内曲線状のものが適している。
 - ④ シザーズは、母指で操作するほうの刃が動刃となる。

H24・春

問題 10 右図のA,B,C,Dに該当する名称の次の組み合わせのうち、正しいものはどれか。

- | A | B | C | D |
|------|----|----|-----|
| ① 鋏先 | 鋏背 | 接点 | 薬指孔 |
| ② 動刃 | 静刃 | 交点 | 母指孔 |
| ③ 鋏背 | 鋏先 | 交点 | 薬指孔 |
| ④ 静刃 | 動刃 | 接点 | 母指孔 |



- 問題 11 美容用具に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。
- ① クリッパーは、シザーズと同じようにスライスした毛束をカットすることができる。
 - ② ヘアアイロンのロッドは毛髪を押さえ、グルーブは毛髪を挟むはたらきをする。
 - ③ タービネートタイプのドライヤーは、音が静かで毛髪も乱れにくい。
 - ④ ヘアスチーマーは、蒸気の粒子の細かいものがよい。

H25・春

問題 12 ヘアスチーマーに関する次の文章の（ ）内に入る語句の組み合わせのうち、正しいものはどれか。
「ヘアスチーマーは、（ A ）により、薬剤の（ B ）したり、頭皮の（ C ）を高めたりするなどのはたらきをする」

- | A | B | C |
|------|-------|------|
| ① 熱風 | 作用を軽減 | 生理機能 |
| ② 蒸気 | 浸透を促進 | 物質代謝 |
| ③ 熱風 | 定着を増加 | 可溶化 |
| ④ 蒸気 | 浸透を軽減 | 血行 |

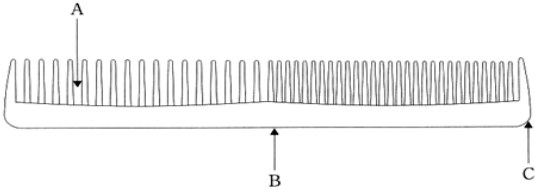
H25・夏

- 問題 13 シザーズに関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。
- ① シザーズは、使用目的によりカッティングシザーズとセニングシザーズとに分けられる。
 - ② シザーズの操作において、母指で操作する刃を静刃という。
 - ③ アールシザーズは、フロント、サイド、ネーブなどの細かい部分の修整や、毛先のつながりをつけるのに適している。
 - ④ シザーズを選ぶには、開閉したとき、交点での接触圧が均等であるものがよい。

H27・春

問題 14 下図はコームを表したものである。次のA、B、Cに該当する名称の組合せのうち、正しいものはどれか。

- | A | B | C |
|-----|---|---|
| ① 歯 | 胴 | 背 |
| ② 目 | 背 | 肩 |
| ③ 歯 | 背 | 目 |
| ④ 目 | 肩 | 胴 |



H27・夏

問題 15 シザーズに関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

- ① シザーズは開閉したときに交点での接触圧が均等であるものがよい。
- ② アールシザーズは、刃が弓なりに反っているので、フロントなどの細かい部分の修整に適している。
- ③ セニングシザーズは、毛髪分量をほどよく整えるために用いる。
- ④ 小指掛のあるシザーズでは、小指掛のあるほうの刃が動刃となる。

H28・春

問題 16 ブラシの手入れ法に関する次の記述のうち、正しいものはどれか。

- ① やわらかい毛のブラシは、洗剤に浸すと毛が抜けるおそれがあるので、指先で汚れだけをはらう。
- ② かたい毛のブラシは、洗剤に浸し、洗浄ブラシで汚れをこすり落とす。
- ③ 洗浄後のブラシは、傷まないように毛を上に向けて乾かす。
- ④ ブラシはコームより汚れが付きにくいので、頻繁に洗浄・消毒をする必要はない。

H28 · 夏

問題17 コームに関する次の記述のうち、正しいものはどれか。

- ① 歯元は、コーム全体の支えとなり、バランスをとる。
- ② 歯は、コームの目に入った毛髪を一線にそろえる。
- ③ 歯先は、頭皮に接して毛髪を引き起こす手引きをする。
- ④ 胴は、引き起こされた毛髪を垂直に立てて両側からささえる。

H29・春

問題 18 ブラシに関する次の記述のうち、正しいものはどれか。

- ① 毛払いブラシは、かたくて毛の短いものがよい。
- ② ネイルブラシは、カラーリング後に、仕上げとして用いられる。
- ③ メイクアップ用ブラシの板刷毛は、舞台化粧や花嫁・舞妓（まいこ）の化粧に用いられる。
- ④ ヘアブラッシング用ブラシは、やわらかくて毛の長いものがよい。

H30・春

問題 19 ブラシの手入れ方法に関する次の記述のうち、正しいものはどれか。

- ① 使用したブラシは、消毒を行う前に洗浄する。
- ② 洗浄したブラシは、毛が変形しないよう、毛を上に向けて乾かす。
- ③ チークブラシは、洗浄ブラシで汚れを落とす。
- ④ 動物毛のブラシは、汚れが付きにくいので、使用の都度洗浄・消毒を行う必要がない。

H30・後期

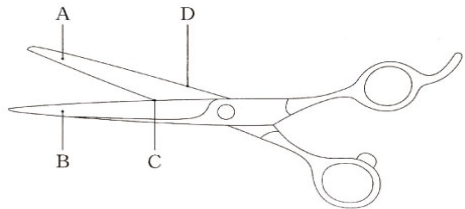
問題20 シザーズに関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

- ① センシングシザーズは、毛量をほどよく整えるために用いる。
- ② 母指で操作する方の刃を動刃という。
- ③ 動刃と静刃の間に、凹レンズ状のあきが正確につくられているものがよい。
- ④ シザーズを開閉したときに、交点での接触圧が均等であるものが良い。

H31・前期

問題21 右図のA、B、C、Dに該当する名称の次の組合せのうち、正しいものはどれか。

- | | A | B | C | D |
|---|----|----|----|----|
| ① | 動刃 | 静刃 | 交点 | 鋏背 |
| ② | 静刃 | 動刃 | 交点 | 鋏背 |
| ③ | 動刃 | 静刃 | 触点 | 刃線 |
| ④ | 静刃 | 動刃 | 触点 | 刃線 |



H31・後期

問題22 シザーズの選定法と手入れ法に関する次の記述のうち、正しいものはどれか。

- ① シンザースを開閉したときに、ヒットゴム（接点）での接触圧が均等であるものはいい。
- ② 動刃と静刃の間に、凹レンズ状のあきが正確につくられているものがよい。
- ③ 使用した後は、毛くずなどの汚れをふき取り、消毒してから清潔に保管する。
- ④ ネジが緩んでしまうので、オイルはネジの部分に決してつけてはいけない。

R2・前期

- 問題23 シザーズに関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。
- ① シザーズを開閉したときに、2枚の刃の交点での接触圧が均等であるものがよい。
 - ② 動刃と静刃の間に、凸レンズ状のあきが正確につくられているものがよい。
 - ③ 母指で操作する方の刃が静刃になる。
 - ④ シザーズは、相対した2枚の刃による剪断応力を利用している。

- 問題24 毛髪用電気器具に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。
- ① ヘアアイロンのスクリュー（ねじ）は、グループハンドル開閉の支点である。
 - ② 毛髪用電気器具の熱源として、遠赤外線を利用したものはない。
 - ③ ヘアアイロンは、熱と物理的な力によって、毛髪の構造に変化を与える。
 - ④ タービネートタイプのドライヤーは、風の循環と旋回を利用している。

R2・後期

- 問題25 コーム各部の名称とそのはたらきに関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。
- ① 肩は、コームの目に入った毛髪を一線にそろえるはたらきをする。
 - ② 胴は、コーム全体の支えとなり、バランスをとるはたらきをする。
 - ③ 歯は、毛髪を引き起こし垂直に立てて両側から支え、そろえるはたらきをする。
 - ④ 歯先は、頭皮に接して毛髪を引き起こす手引きをする。

- 問題26 ヘアドライヤーに関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。
- ① ブロータイプのヘアドライヤーは、音が静かで毛髪も乱れにくい、タービネートタイプに比べてドライイングに時間を要する。
 - ② ヘアドライヤーは、ファンの回転によって起こされた風がニクロム線によって熱せられ、送風される仕組みになっている。
 - ③ 温度を一定に保つため、着脱式のアタッチメントを使用する。
 - ④ ヘアドライヤーの熱によって毛髪の水分を蒸発させるが、結合水まで蒸発するとオーバードライとなる。

R3・前期

- 問題27 美容の電気器具に関する次の記述のうち、正しいものはどれか。
- ① 電熱式アイロンに内蔵されたサーモスタットは、一定の温度を保つはたらきをする。
 - ② ハンドドライヤーは、タービネートタイプである。
 - ③ スタンドドライヤーは、消費電力が2,000W以上のものが多い。
 - ④ ヘアスチーマーは、乾熱を利用して技術効果を高めるはたらきをする。

R3・後期

- 問題28 シザーズに関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。
- ① 力学的には、てこの原理を応用している。
 - ② 薬指孔のある方の刃が静刃である。
 - ③ 2枚の刃による剪断応力を利用している。
 - ④ 動刃と静刃の間にあきのないものがよい。

R4・前期

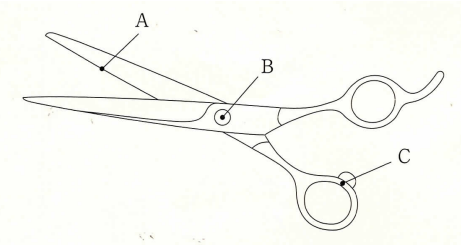
- 問題29 次のうち、モーターと発熱器の両方を内蔵する美容用具はどれか。
- ① クリッパー
 - ② ワッフルアイロン
 - ③ ヘアドライヤー
 - ④ ホットカーラー

- 問題30 ヘアカット用レザに関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。
- ① 本レザの刃線の形態は、内曲線状である。
 - ② 替刃のレザの刃は、直線状である。
 - ③ カバーのついた替刃のレザは、本レザと比較すると横滑りしないので安全性が高い。
 - ④ 背と切れ刃が平行であり、ねじれがないものがよい。

R4・後期

問題31 下図は、シザーズが応用しているこの原理での力学的な点を表したものである。ABCに該当する名称の次の組み合わせのうち正しいものはどれか。

- | | A | B | C |
|---|-----|----|-----|
| ① | 作用点 | 支点 | 力点 |
| ② | 力点 | 交点 | 作用点 |
| ③ | 力点 | 支点 | 作用点 |
| ④ | 作用点 | 交点 | 力点 |



R5・前期

問題32 シザーズに関する次の記述のうち、正しいものはどれか。

- ① 母指で操作する方の刃を静刃という。
- ② ティッシュペーパーをゆっくりと切ってみたときに、すべるものがよい。
- ③ 交点での接触圧が開く時よりも閉じるときに強いものがよい。
- ④ 動刃と静刃の間に凸レンズ状のあきが正確に作られているものがよい。

問題33 ヘアアイロンに関する次の文章の（ ）内に入る語句の組み合わせのうち、正しいものはどれか。

「ヘアアイロンは、（A）と物理的な力によって毛髪の構造に変化を与える。
ロッドの素材には、ステンレスやセラミックの他、ヘアローションなどが焦げ付かないように表面に（B）加工を施したものなどがある。電熱式ヘアアイロンでは、ニクロム線と（C）との接続部分は壊れやすく、絶縁体が不良になると感電の危険がある。」

- | | A | B | C |
|---|---|--------|-----|
| ① | 熱 | アクリル樹脂 | プラグ |
| ② | 光 | フッ素樹脂 | プラグ |
| ③ | 光 | アクリル樹脂 | コード |
| ④ | 熱 | フッ素樹脂 | コード |

R5・後期

問題34 コームの各部の名称とその働きに関する次の組み合わせのうち、正しいものはどれか。

- ① 歯元・・・コーム全体の支えとなり、バランスをとる。
- ② 胴・・・毛髪を引き起こし垂直に立てて両側から支え、そろえる。
- ③ 歯先・・・頭皮に接して毛髪を引き起こす手引きをする。
- ④ 歯・・・コームの目に入った毛髪を一線にそろえる。

問題35 シザーズの操作に関する次の文章の（ ）内に入る語句の組み合わせのうち、正しいものはどれか。

「（A）で操作する方の鋏身を安定させる。（B）で操作する方の刃が（C）となる。」

- | | A | B | C |
|---|----|----|----|
| ① | 母指 | 薬指 | 静刃 |
| ② | 薬指 | 薬指 | 動刃 |
| ③ | 母指 | 母指 | 静刃 |
| ④ | 薬指 | 母指 | 動刃 |

R6・前期

問題36 次のコームの部位のうち、コームの目に入った毛髪を一線にそろえる働きをするものはどれか。

- ① 歯
- ② 肩
- ③ 歯元
- ④ 歯先

R6・後期

問題37 ヘアドライヤーに関する次の文章の（ ）内に入る語句の組み合わせのうち、正しいものはどれか。

「ヘアドライヤーの構造で中心をなすのは（ A ）、（ A ）を動かすための（ B ）、そして（ C ）である。（ A ）により風が起こされ、この風が（ C ）により熱せられ、さらに（ A ）により送風される。」

- | | A | B | C |
|---|-----|------|------|
| ① | 発熱器 | モーター | スイッチ |

- | | | |
|--------|------|------|
| ② モーター | ファン | 発熱器 |
| ③ スイッチ | ファン | モーター |
| ④ ファン | モーター | 発熱器 |

問題1 リンス・コンディショナー・トリートメントに関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

- ① リンスは、柔軟性と光沢のある毛髪に仕上げるのが主となっている。
- ② コンディショナーは、毛髪に艶や潤いを与え、感触がよくなるように毛髪の表面にはたらきかける。
- ③ ヘアトリートメントは、毛髪に必要な手当てを施すことで、正常な状態に近づけ毛髪を保護する。
- ④ プレトリートメントは、酸性効果のあるリンス剤を用いて、毛髪を本来の状態に戻す。

問題2 シャンプー剤の特徴に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

- ① 洗浄効果を主としたシャンプー剤は、脂性の頭皮及び毛髪に使用する。
- ② コンディショニング効果のあるシャンプー剤は、乾性の頭皮及びダメージした毛髪のコンディションを整える目的で用いられる。
- ③ ヘアカラー用シャンプー剤は、ヘアカラーの施術後、またはヘアカラーを繰り返している毛髪のpHを整え、保湿効果を高めた弱酸性のシャンプー剤である。
- ④ 抗ふけ効果のあるフケ取りシャンプー剤は、パーマメントウェーブ前に使用する。

問題3 オイリースカルプトリートメントに関する次の記述のうち、正しいものはどれか。

- ① 皮脂が不足して、頭皮が乾燥している状態のときに行う。
- ② 頭皮の皮脂の分泌が過多の場合に行う。
- ③ フケの除去のために行う。
- ④ 頭皮が正常な状態のときに行う。

問題4 スカルプトリートメントに関する次の記述のうち、正しいものはどれか。

- ① ダンドラフスカルプトリートメントは、頭皮が乾燥している場合に行う。
- ② ドライスカルプトリートメントは、正常な頭皮の場合に行う。
- ③ オイリースカルプトリートメントは、頭皮の皮脂の分泌が過多の場合に行う。
- ④ ノーマルスカルプトリートメントは、フケ除去のために行う。

問題5 シャンプー剤に含まれているアニオン界面活性剤に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

- ① 洗浄効力がある。
- ② 泡立ちがきめ細かく、豊かである。
- ③ 刺激が弱い。
- ④ 毛髪の静電気を防止する。

問題6 シャンプーに関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

- ① 毎日シャンプーしても適切な洗い方であれば、洗いすぎることはない。
- ② 毛髪は、水分を吸収して膨潤しているので、毛髪を強くこすり合わせてシャンプーすると毛小皮をいためる。
- ③ パーマメントウェーブの前に行うシャンプーは、頭皮に刺激を与えないように気をつける。
- ④ シャンプー剤は一度に多量に使用すると効果的で毛髪も傷めることもない。

問題7 シャンプー剤の種類と選び方に関する次の記述のうち、正しいものはどれか。

- ① 脂性の頭皮や毛髪には、コンディショニング効果のあるシャンプー剤が適している。
- ② アルカリ性に傾いていた毛髪には、ヘアカラー用シャンプー剤が適している。
- ③ 乾性の頭皮には、ジंकピリチオンなどの殺菌剤を配合したシャンプー剤が適している。
- ④ フケの多い頭皮には、酸性効果のあるクエン酸を配合したシャンプー剤が適している。

問題8 シャンプー前のブラッシングに関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

- ① 毛髪の汚れである頭皮のフケを浮かせて除去しやすくする。
- ② マッサージ効果によって頭皮の新陳代謝を促す。
- ③ どの部分もつむじから生え際に向けて行う。
- ④ 毛髪のもつれをほぐし、抜けるべき毛髪をすき取る。

問題9 頭皮が乾燥している状態の場合に行うスカルプトリートメントは、次のうちどれか。

- ① ノーマルスカルプトリートメント
- ② ドライスカルプトリートメント
- ③ オイリースカルプトリートメント
- ④ ダンドラフスカルプトリートメント

- 問題10 シャンプーイングに関する次の記述のうち、正しいものの組み合わせはどれか。
- a シャンプーに使用するお湯の温度は、一般に25～28℃が適温とされている。
 - b パーマネントウェーブやヘアカラーリングの前にシャンプーを行う場合は、頭皮を刺激するような成分の含まれるシャンプー剤を用いるのは控える。
 - c 適量以上のシャンプー剤を使っても、さほど洗浄力は増加しない。
 - d 毛髪は水分を吸収して膨潤しているので、毛髪を強くこすり合わせてシャンプーするとよい。

- ① a と b
- ② b と c
- ③ c と d
- ④ a と d

- 問題11 リンス、コンディショナーの主成分に関する次の文章の（ ）内に入る語句の組み合わせのうち、正しいものはどれか。
- 「リンス、コンディショナーの主成分として配合されている（ A ）は、毛髪の（ B ）に吸着し、毛髪の表面に皮膜をつくるので、（ C ）を防止してブラシのとおりをよくする。」

- | A | B | C |
|-------------|-----|-----|
| ① アニオン界面活性剤 | 脂肪分 | 枝毛 |
| ② カチオン界面活性剤 | 表面 | 静電気 |
| ③ アニオン界面活性剤 | 表面 | 静電気 |
| ④ カチオン界面活性剤 | 脂肪分 | 枝毛 |

- 問題12 スカルプトリートメントに関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。
- ① スカルプトリートメントの技術過程を大別すると、物理的な方法と化学的な方法がある。
 - ② 頭皮の生理機能を化学的な方法で健康に保持するため、ヘアトニック、スカルプトリートメント剤を使用する。
 - ③ ダンドラフスカルプトリートメントは、フケ除去の目的で行う方法である。
 - ④ スカルプケアで使用する育毛剤の成分であるグリチルリチン酸モノアンモニウムは、血行促進の効果がある。

- 問題13 PPTトリートメントに関する次の文章の（ ）内に入る語句の組み合わせのうち、正しいものはどれか。
- 「PPT（加水分解コラーゲン）トリートメントは、（ A ）配合のポリペプチドが毛髪に吸着し、（ B ）にすぐれている。」

- | A | B |
|-------|------|
| ① 低濃度 | 保護作用 |
| ② 高濃度 | 修復作用 |
| ③ 低濃度 | 加温作用 |
| ④ 高濃度 | 補強作用 |

- 問題14 スカルプマッサージ技術の叩打法（パーカッション）に関する次の記述のうち、正しいものはどれか。
- ① タッピングは、指の掌面を用いて指頭叩打する。
 - ② カッピングは、こぶしで叩打する。
 - ③ ピーディングは、手掌で叩打する。
 - ④ ハッキングは、手掌をカップ状にくぼませ叩打する。

- 問題15 シャンプー剤に配合されているアニオン界面活性剤に関する次の記述のうち、正しいものの組み合わせはどれか。
- a 洗浄効果を高める
 - b 泡立ちをきめ細かく、豊かにする
 - c 保湿力を高める
 - d 毛髪の静電気を防止する
- ①aとb ②bとc ③cとd ④aとd

- 問題16 リンス剤、コンディショナー剤、トリートメント剤の成分に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。
- ① ラノリン、スクワラン、エステル油などの油性成分は、過剰に失われた皮脂を補い、毛髪の水分蒸発をコントロールする。
 - ② カチオン界面活性剤は、毛髪のタンパク質に吸着し、毛髪表面に被膜をつくり、静電気を防止する。
 - ③ 毛髪の保護成分は、カチオンポリマーよりもカチオン界面活性剤の方が毛髪に長が残る。
 - ④ 加水分解コラーゲン（PPT）の成分であるアミノ酸は、損傷によって流れ出たタンパク質を補う役割をする。

- 問題17 リンス剤に関する次の記述のうち、正しいものはどれか。
- ① リンス剤は、頭毛のpHと同じ弱酸性のものが望ましい。
 - ② ヘアカラー施術後には、酸性に傾いた頭毛のpHを元に戻す為、アルカリ性のリンス剤を用いる
 - ③ 配合されたアミノ酸は、毛表面に皮膜を作り、静電気を防止して柔らかな手触りにする。
 - ④ 乾性の頭皮には、湿潤効果のあるジnkピリチオンが配合されたリンス剤を用いる。

問題 1 8 スカルプマッサージの基本手技の打法と特徴に関する次の組み合わせのうち、正しいものはどれか。

- ① ハッキング・・・・・・・・両手の指間を開け、手掌の外側面で軽く交互に叩打する
- ② タッピング・・・・・・・・手掌をカップ状にくぼませて手の甲で頭、首、肩をリズムカルに叩く
- ③ カッピング・・・・・・・・指の掌面を用いて頭をはじくように叩打する
- ④ ビーディング・・・・・・・・手掌で平均的に刺激を与えるように叩打する

問題 1 9 頭皮の皮脂の分泌が過剰の場合に行うスカルプトリートメントは、次のうちどれか。

- ① オイリースカルプトリートメント
- ② ダンドラフスカルプトリートメント
- ③ ドライスカルプトリートメント
- ④ ノーマルスカルプトリートメント

問題 2 0 シャンプーに関する次の記述のうち、正しいものの組み合わせはどれか。

- a ヘアカラーの施術後のシャンプーは、収れん作用を利用しながら行う。
 - b パーマネントウェーブ施術前のシャンプーは、頭皮を刺激しないように行う。
 - c ファーストシャンプーは、手の動きをやや細かくし、マッサージ効果を意識して行う。
 - d シャンプーに使用のお湯の温度は、一般に25～28℃が適温とされている。
- ① aとb ② bとc ③ cとd ④ aとd

問題 2 1 コンディショニング効果のあるシャンプー剤の特徴に関する次の記述のうち、正しいものはどれか。

- ① 皮脂の分泌を抑えるジंकピリチオンが配合されているので、油性の頭皮や頭毛に適している。
- ② ヘアカラー、パーマネントウェーブの施術によりアルカリ性に傾いた頭毛に適している。
- ③ 洗浄力を多少おさえて皮脂をとりすぎず、コンディションを整えるので乾性の頭皮や頭毛に適している。
- ④ 油性成分の配合が多く洗浄力が強いので、脂性の頭皮や頭毛に適している。

問題 2 2 ヘアトリートメント剤に関する次の文章の（ ）内に入る語句の組合せのうち、正しいものはどれか。
「PPTトリートメントは、高濃度配合の（ B ）が毛髪に吸着し、（ C ）作用にすぐれている。」

- | | B | C |
|-------------|------|----|
| ① ヒアルロン酸 | ———— | 保護 |
| ② カチオン界面活性剤 | — | 補修 |
| ③ ポリペプチド | ———— | 補修 |
| ④ ラノリン | ———— | 保護 |

問題 2 3 次の技術のうち、遠赤外線を利用すると大きな促進効果が期待できるものはどれか。

- ① ヘアトリートメント
- ② ヘアシャンプー
- ③ ヘアカット
- ④ ヘアカーリング

問題 2 4 スカルプトリートメントに関する次の記述のうち、化学的な方法に該当するものはどれか。

- ① ヘアトリートメント、スカルプトリートメント剤などを使用し、頭皮及び毛髪の生理機能を健康に保持する方法
- ② スチームタオルやヘアスチーマーなどの湿熱、あるいは遠赤外線などの温熱を利用する方法
- ③ スカルプマッサージによる方法
- ④ ブラシを利用する方法

問題 2 5 スカルプマッサージ技術の揉み法に関する次の記述のうち、正しいものはどれか。

- ① 4 指と母指を用いてもみほぐす。
- ② 手掌、4 指、母指を用いて強くこする。
- ③ 指の掌面を用いて、頭をはじくように叩打する。
- ④ 手掌を用いて、左右の側頭部を圧迫する。

問題 2 6 トリートメントに関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

- ① プレートトリートメントは、パーマネントウェーブやヘアカラーの施術前に行い、毛髪を保護して損傷の拡大を防ぐ。
- ② オイリースカルプトリートメントは、乾燥している頭皮に油分を補うために行う。
- ③ PPTトリートメントは、親水性の高いポリペプチドを用いており、毛髪の損傷補修作用に優れている。
- ④ オイルトリートメントは、加温して用いることにより浸透が促進され、油分が補われる。

問題 2 7 シャンプーに関する次の記述のうち、正しいものはどれか。

- ① シャンプーに使用のお湯の温度は、35℃以下が適温である。
- ② シャンプー前のブラッシングは、毛先から根元に向けて行う。
- ③ セカンドシャンプーでは手の動きを細かくし、マッサージ効果を意識して行う。
- ④ サイドシャンプーは、バックシャンプーに比べてネーブが洗いやすく、両手でしっかり洗うことができる。

問題28 スカルプトリートメントの要素に関する次の記述のうち、化学的な方法に分類されるものはどれか。

- ① ブラシを使用する方法。
- ② スカルプマッサージによる方法。
- ③ ヘアトリートメントを使用する方法。
- ④ ヘアスチーマーの湿熱を利用する方法。

問題29 ヘアトリートメント技術に関する次の記述のうち、スクランチに該当するものはどれか。

- ① 手のひらの中で毛髪を包み込むようにして、ヘアトリートメント剤を手早く必要な部位にもみこむ。
- ② 手でストランドをにぎるようにして、両手で交互にスルーし、ヘアトリートメント剤を毛髪内部へ押し込み、毛髪表面を整える。
- ③ 人差し指と中指でストランドをはさみ、両手で交互にスルーし、ヘアトリートメント剤をなじませながら、毛髪表面を整える。
- ④ ストランドを軽く持ち上げ、ウェーブヘアーカールを壊さないように、ゆっくり握るようになじませる。

問題30 スカルプマッサージ手技の打法に関する次の記述のうち、正しいものはどれか。

- ① タッピングは、手掌をカップ状にくぼませて両手を軽く握り、手の甲で頭、首、肩をリズムカルに叩打する。
- ② ハッキングは、両手の指間を開け、手掌の外側面で軽く交互に叩打する。
- ③ カッピングは、こぶしで叩打する。
- ④ ビーディングは、指の掌面を用いて頭をはじくように叩打する。

問題31 バックシャンプーに関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

- ① 技術者は、シャンプーボールの後ろに立って施術する。
- ② フェイスマスクを使用しなくてもよい。
- ③ サイドシャンプーに比べてネープが洗いにくい。
- ④ 耳の後ろに指が入りにくく、洗い残しがちになる。

問題32 シャンプーイングに関する次の記述のうち、正しいものはどれか。

- ① ブラッシングはゴールデンポイントからフロント・サイドの生え際に向かってとくすとよい。
- ② パーマネントウェーブやヘアカラーの施術前には、ファーストシャンプーだけを行う。
- ③ ヘアカラー施術後は、保湿性の高いアルカリ性のシャンプーが適している。
- ④ ファーストシャンプーは、セカンドシャンプーより手の動きを細かくし、時間をかけて洗うとよい。

問題33 コンディショニング効果を主としたシャンプー剤に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

- ① 乾性の頭皮やダメージを受けた毛髪の状態を整える目的で用いられる。
- ② 洗浄力を多少抑えて、パーマネントウェーブなどによって水分が過剰に失われた乾燥毛に適している。
- ③ 油成分の配合が少なく、洗浄力が強いので、脂性の頭皮や毛髪に適している。
- ④ カチオンポリマーやシリコーン誘導体などが配合され、毛髪を保護する働きがある。

問題34 スカルプトリートメントを施す場合の化学的な方法は、次のうちどれか。

- ① ヘアトリートメントを使用する。
- ② スカルプマッサージを行う。
- ③ ブラシを使用する。
- ④ ヘアスチーマーなどの湿熱を利用する。

問題35 スカルプマッサージの基本手技に関する次の記述のうち、正しいものはどれか。

- ① 揉擦法は、両手掌を左右の耳部にかぶさるように置き、指先が頭皮に触れる瞬間に力をいれてつまみ上げ、指先全体で円を描くように頭頂部までもんでいく手技
- ② 振動法は、強く頭皮を押し、手から急に力を抜く勢いで頭皮を強くこする手技。
- ③ 打法のハッキングは、指の掌面を用いて頭をはじくように叩打する手技。
- ④ 打法のタッピングは、両手の指間を開け、手掌の外側面で軽く交互に叩打する手技。

問題36 シャンプーイングの目的や方法に関する次の記述のうち、正しいものはどれか。

- ① シャンプーイングは、汚れを取り除き、その後のカットやブローなどヘアデザインを容易にする土台をつくる。
- ② セカンドシャンプーでは、ファーストシャンプーで落としきれなかった汚れをとるので、大きめの動きでファーストシャンプーより時間をかけない。
- ③ パーマネントウェーブ及びヘアカラー施術前のシャンプーは、薬剤が効果的にはたらくようにしっかりと触ったタッチで頭皮をこする。
- ④ ヘアカラー施術後のアフターシャンプーは、薬剤を除去するため、時間をかけずに強めに洗う。

問題37 トリートメントに関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

- ① トリートメント剤に配合されているカチオン界面活性剤は、毛髪の補修作用にすぐれている。
- ② トリートメント剤は、加温して用いることにより、浸透が促進される。
- ③ トリートメント剤は、洗い流すタイプと洗い流さないタイプがある。
- ④ プレトリートメントは、パーマネントウェーブやヘアカラーの施術前に行われる。

- 問題38 リンスやトリートメントに関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。
- ① リンス剤を用いずに、水やぬるま湯ですすぐことを、プレーンリッシングとよぶ。
 - ② 石けんを主剤としたシャンプー剤の使用後には、アルカリ性のリンス剤が適している。
 - ③ ヘアトリートメントの目的は、傷んだ毛髪を人工的に補強し、正常な状態に近づけること、また、それ以上傷まないように毛髪を保護することである。
 - ④ パーマネントウェーブやヘアブリーチ、ヘアカラー施術後は、酸性効果のあるリンス剤を用いる。

- 問題39 シャンプーイングに関する次の記述のうち、正しいものはどれか。
- ① お湯の温度は、45～48℃が適温である。
 - ② 毛髪を強くこすり合わせてシャンプーすると、キューティクルを傷める。
 - ③ パーマネントウェーブやヘアカラー施術前にシャンプーを行なう場合は、頭皮を強くこすり、汚れを落とす。
 - ④ 毛髪の汚れがひどい場合は、一度に多量のシャンプー剤を使用するとよい。

- 問題40 次のうち、スカルプマッサージ手技の打法に該当しないものはどれか。
- ① タッピング
 - ② ハッキング
 - ③ カッピング
 - ④ ストロークング

- 問題41 次のスカルプトリートメントの方法のうち、化学的方法に分類されるものはどれか。
- ① ブラッシングによる方法
 - ② スカルプマッサージによる方法
 - ③ ヘアトニックを用いる方法
 - ④ ヘアスチーマーの湿熱を用いる方法

- 問題42 次のうち、スカルプマッサージの基本手技の揉捻法（ペトリサージュ）に該当するものはどれか。
- ① 皮膚を抑えつけながら強く擦る。
 - ② 指先だけでなく腕全体で、皮膚や下部組織に振動を伝える。
 - ③ 圧迫することで充血を調節し、刺激する。
 - ④ 4指を母指を用いてもみほぐす。

- 問題43 ヘッドスパに関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。
- ① シャンプーだけでは取り除けない毛穴の老廃物を取り除き、頭皮ケアを行う。
 - ② 血行を促進させ、新陳代謝を高めるために、頭部のマッサージを行う。
 - ③ 頭皮環境の改善が目的なので、髪質改善のためのトリートメントは同時に行わない。
 - ④ 施術中に、音やアロマなどでリラックスしてもらう。

- 問題44 次の技術のうち、ヘアトリートメント技術に該当しないものはどれか。
- ① ニーディング
 - ② ハッキング
 - ③ フィンガースルー
 - ④ ス克蘭チ

R2 後期

問題1 美容デザインにおける錯覚現象に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

- ① 線をさまざまな形に配置して錯覚を生じさせるものを、化学的錯視という。
- ② 幾何学的錯視には、距離・大きさに関する錯視と角度・方向に関する錯視がある。
- ③ ボリュームの大きいヘアスタイルに囲まれた顔がボリュームの小さいヘアスタイルの場合より小さく感じるのは、大きさの対比現象によるものである。
- ④ 平面的に描かれたものを立体的に見せる手法の1つに、陰影をつけるという方法がある。

R3 前期

問題2 下図のヘアスタイルのバランスを表しているものは、次のうちどれか。

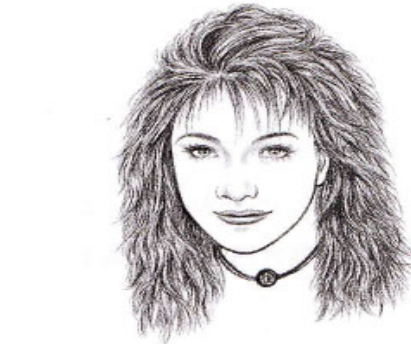
- ① シンメトリー
- ② アシンメトリー
- ③ アンバランス
- ④ コントラスト



R3 後期

問題3 下図のソバージュヘアに関する文章の（ ）内に入る語句の組合せのうち、正しいものはどれか。
『ロングのソバージュヘアは、（ A ）ウェーブを付けた髪が（ B ）に広がり、（ C ）印象となる。』

- | | A | B | C |
|-------|-----|----|---|
| ① 大きい | 直線的 | 弱い | |
| ② 大きい | 曲線的 | 強い | |
| ③ 細かい | 曲線的 | 弱い | |
| ④ 細かい | 直線的 | 強い | |



R4・前期

問題4 幾何学的錯視に関する次の文章に該当する錯視として、正しいものはどれか。

「ヘアスタイルのボリュームが小さい場合と比較すると、ボリュームの大きいヘアスタイルに囲まれた顔は小さく感じる。」

- ① 分割距離錯視
- ② 枠組み効果
- ③ ボンゾ錯視
- ④ 大きさの対比現象

R4・後期

問題5 ヘアデザインに関する次の記述のうち、誤っているものはどれか

- ① 幾何学的錯視は、大きく分類すると、距離・大きさに関する錯視と角度・方向に関する錯視の2つに分けられる。
- ② ドンディスによる形の3つの基本形は、正方形・円・正五角形である。
- ③ 面を構成する要素として、形・大きさ・テクスチャーがある。
- ④ ヘアスタイルにおけるテクスチャーは、ストレートかウェーブもしくはラフな表面の仕上がり感である。

R5・前期

問題6 デザインの比率に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

- ① パルテノン神殿など歴史的な建造物の中に、最も安定した比率とされる黄金比を見ることができる。
- ② 人間のプロポーションでは、身体に対して頭が相対的に大きいと全体的に大人っぽい成熟した印象を与える。
- ③ アンバランスなデザインは、緊張感を生み出す。
- ④ レオナルド・ダ・ヴィンチは、人体のプロポーションのカノン（基準）を描いた。

R5・後期

問題7 デザインに関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

- ① ドンデイスによる形の3つの基本形は、正方形・円・正三角形である。
- ② ポンゾ錯視は、角度・方向錯視を代表するものである。
- ③ 枠組み効果とは、枠組みによって対象の位置がずれて見える現象である。
- ④ 主観的輪郭線とは、実際には輪郭線が存在しないのに、あたかも輪郭線がそこにあるように見える現象である。

R6・前期

問題8 次のうち、下図に該当する錯視はどれか。

- ① 分割距離錯視
- ② 距離・大きさの錯視
- ③ 角度・方向の錯視
- ④ 大きさの対比現象



R6・後期

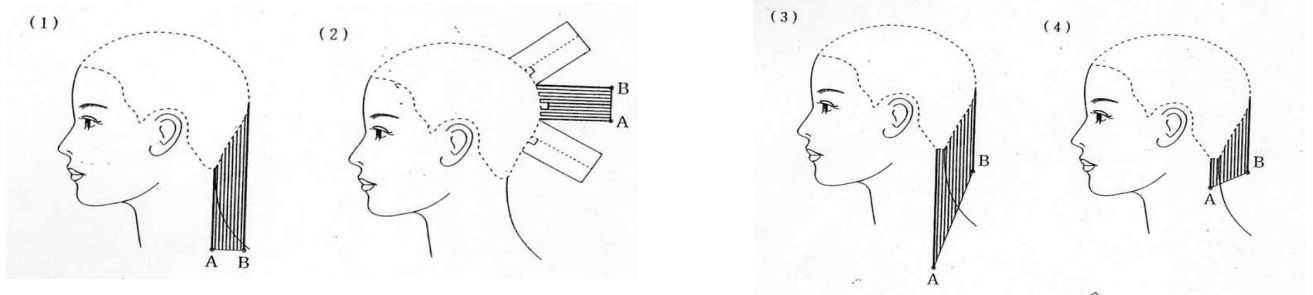
問題9

デザインの原理に関する次の文章の（ ）内に入る語句の組み合わせのうち、正しいものはどれか。
「同じ線であっても、その方向によって感じる印象は異なったものになる。（ A ）は安定感を与え、（ B ）は平衡・均衡・強力な支柱を暗示し、（ C ）は不安定感・運動感・緊張感を生じさせる。」

A	B	C
① 水平線	垂直線	斜線
② 斜線	水平線	垂直線
③ 垂直線	斜線	水平線
④ 水平線	斜線	垂直線

H17・春

問題1 下図は、カットラインを表したものである。①～④のうち、グラデーションカットに該当するものはどれか。



H17・夏

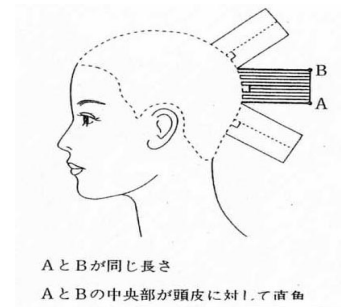
問題2 ヘアカット技術に関する次の記述のうち、正しいものはどれか。

- ① ロングストロークカットは、パネルの毛先のみストロークし、軽やかな動きをつくり出す。
- ② トリミングカットは、カットされたラインをさらにカットし、修正して仕上げる。
- ③ スライドカットは、毛先を尖らせたり、軽くしたりする。
- ④ ポインティングカットは、毛の長さを変えずに、毛先だけを薄くする。

H18・春

問題3 右図のヘアカット技術で作られるヘアスタイルは、次のうちどれか。

- ① ワンレングス
- ② グラデーション
- ③ レイヤー
- ④ セイムレングス



H18・夏

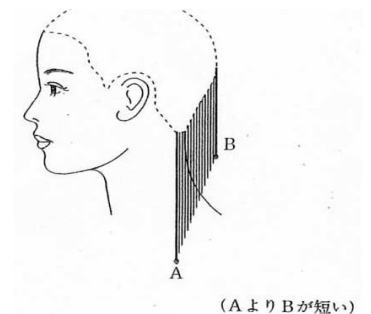
問題4 レザーによるテーパーカットに関する次の記述のうち、正しいものはどれか。

- ① エンドテーパーカットとは、根元近くからテーパーする。
- ② ノーマルテーパーカットとは、毛先から1/3ほどテーパーする。
- ③ ディープテーパーカットとは、毛先の部分を1～2 cmテーパーする。
- ④ レフトサイドテーパーカットとは、毛先から1/2ほどテーパーする。

H19・春

問題5 右図のヘアカット技術で作られるヘアスタイルは、次のうちどれか。

- ① レイヤー
- ② グラデーション
- ③ ワンレングス
- ④ セイムレングス



H19・夏

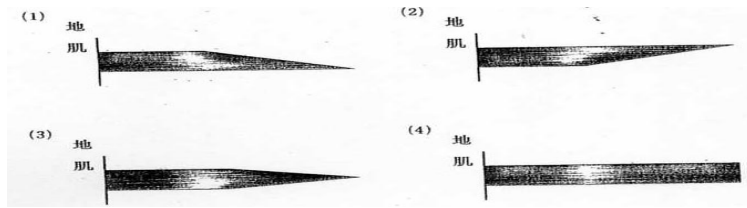
問題6 ディープテーパーカットに関するつぎの文章の（ ）内に入る語句の組み合わせのうち、正しいものはどれか。

「ディープテーパーカットは、特に毛量の（ A ）場合や毛髪に（ B ）動きを持たせるときなどに（ C ）近くからテーパーするカット技法である。」

- | | A | B | C |
|---|-----|-----|----|
| ① | 多い | 大きな | 根元 |
| ② | 多い | 小さな | 毛先 |
| ③ | 少ない | 大きな | 根元 |
| ④ | 少ない | 小さな | 毛先 |

H20・夏

問題7 下図のレザーによるボスサイドテーパーカットのテーパー面は、①～④のうちどれか。



H21・春

問題8 ヘアカット技術とその特徴に関する次の組み合わせのうち、正しいものはどれか。

- ① ワンレングスカット・・・パネルを頭皮に対して直角（オンベース）に引き出し、全体をほぼ同じ長さにカットする技法である。
- ② レイヤーカット・・・毛先が不揃いになるよう束感を出すためのカット技法である。
- ③ グラデーションカット・・・ガイドパネルの下部より上部の方が長いもので密な段差をつけるカット技法である。
- ④ セイムレングスカット・・・すべてを同一線上で切るカット技法である。

H21・夏

問題9 セイムレングスカットに関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

- ① 頭髪全体をほぼ同じ長さにする。
- ② パネルを頭皮に対して直角（オンベース）に引き出す。
- ③ ショートスタイルのカットに多く用いられる。
- ④ シルエットは、上部が短く下部に行くほど長くなる。

H22・春

問題10 テーパーカット技法に関する次の技術のうち、正しいものはどれか。

- ① ディープテーパーカットは、毛先から1/3ほどをテーパーするカット技法である。
- ② エンドテーパーカットは、毛先をテーパーするカット技法である。
- ③ ボスサイドテーパーカットは、パネルの外側をテーパーするカット技法である。
- ④ インサイドテーパーカットは、根元近くからテーパーするカット技法である。

H22・夏

問題11 シザーズによるカット技法とその説明に関する次の組み合わせのうち、正しいものはどれか。

- ① セニングカット・・・毛髪を直線でブツきりにする。
- ② スライドカット・・・長さの調節と毛量調節を同時に行う。
- ③ ポインティングカット・・・カッティングされたラインをさらにカットし、修整して仕上げる。
- ④ トリミングカット・・・いたんだ毛髪を取り除く。

H23・春

問題12 カット技法に関する次の文章の（ ）内に入る語句の組み合わせのうち、正しいものはどれか。

『（ A ）カットは、（ B ）の異なる毛髪の層を重ね合わせ、（ C ）を調節してスタイルに立体感を与えるカット技法である。』

- | A | B | C |
|-----------|-------|-------|
| ① グラデーション | ボリューム | 長さ |
| ② レイヤー | 長さ | ボリューム |
| ③ グラデーション | 長さ | ボリューム |
| ④ レイヤー | ボリューム | 長さ |

H23・夏

問題13 シザーズによるカット技法に関する次の記述のうち、正しいものの組み合わせはどれか。

- a ブラントカットは、毛髪を直線でぶつ切りにする技法である。
 - b ストロークカットは、1回ごとにシザーズを開閉させながら動かし、毛髪を削り取っていく技法である。
 - c スライドカットは、カッティングされたラインをさらにカットし、修整して仕上げる技法である。
 - d ポインティングカットは、毛髪の流れを変えずに、毛量を少なくする技法である。
- ①aとb ②bとc ③cとd ④aとd

H24・春

問題 1 4 テーパーカット技法に関する次の記述のうち、正しいものはどれか。

- ① ディープテーパーカットは、毛先から1/3ほどをテーパーする。
- ② エンドテーパーカットは、毛先をテーパーする。
- ③ ボスサイドテーパーカットは、パネルの外側をテーパーする。
- ④ インサイドテーパーカットは、根元近くからテーパーする。

H24・夏

問題 1 5 テーパーカットに関する次の記述のうち、テーパーする面により分類されるカット技法はどれか。

- ① エンドテーパーカット
- ② ノーマルテーパーカット
- ③ ボスサイドテーパーカット
- ④ ライトサイドテーパーカット

H25・春

問題 1 6 ヘアカットに関する次の記述のうち、正しいものはどれか。

- ① パネルを中央に集めて切った場合、頭の丸みと同じカットラインになる。
- ② パネルを左に集めて切った場合、左に向かって徐々に長いカットラインになる。
- ③ 同じ長さのパネルを中央に集めて切った場合、パネルの幅が広いとカットラインの長さの差が大きくなる。
- ④ 同じ幅のパネルを中央に集めて切った場合、カットするパネルの長さが長いほどカットラインの長さの差が大きくなる。

H26・春

問題 1 8 カット技法に関する次の説明に該当する技法はどれか。

「腕の反復運動により、1回ごとにシザーズを開閉させながら動かして毛髪を削り取るカット技法で、毛髪がテーパーされ、先細りの形になり、毛先に軽さや方向性が生み出されると同時に、毛量の調節が行われる。」

- ① ストロークカット
- ② セニングカット
- ③ ポインティングカット
- ④ スライドカット

H26・夏

問題 1 9 カット技術に関する次の記述のうち、正しいものはどれか。

- ① セイムレングスカットは、毛髪が自然に落ちる位置にパネルをシェーブし、全てを同一線上で切るカット技法である。
- ② ワンレングスカットは、パネルを頭皮に対して直角に引き出し、全体をほぼ同じ長さにするカット技法である。
- ③ グラデーションカットは、パネルをダウンステムでシェーブし、最も長い毛髪の部分がボリュームの頂点となる。
- ④ レイヤーカットは、頭部の形がそのままヘアスタイルのシルエットとなるのでショートスタイルのカットに用いられる。

H27・春

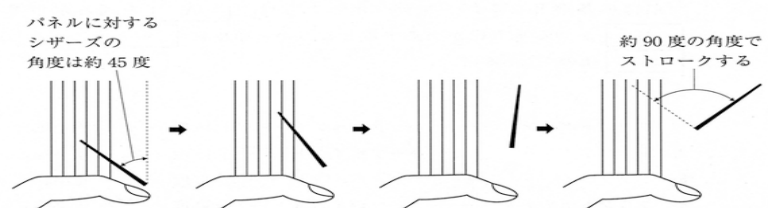
問題 2 0 ヘアカットに関する正しい姿勢に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

- ① カットする対象に対して、腕を軽く曲げたいくらいの間隔をおく。
- ② 目線の高さを調節する場合は、背筋を曲げず、膝の屈伸で対応する。
- ③ カットする際、肘の位置をカットラインに合わせる。
- ④ 右から左へ上がるラインを切る場合は、右肘を上げる。

H27・夏

問題 2 1 下図はストロークカットのシザーズの刃先の動きを表したものであるが、この技法に該当するものはどれか。

- ① ショートストロークカット
- ② ミディウムストロークカット
- ③ ロングストロークカット
- ④ アップストロークカット



H28・春

問題 2 2 テーパーカットに関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

- ① ボスサイドテーパーカットは、パネルの内側と外側の両面をテーパーする。
- ② レフトサイドテーパーカットは、毛先が右に流れやすくなる。
- ③ インサイドテーパーカットは、毛先が内側に入りやすくなる。
- ④ ディープテーパーカットは、毛先から3分の1ほどをテーパーする。

H28・夏

問題 2 3 次のカット技法のうち、レザーカットに適していないものはどれか。

- ① トリミングカット
- ② テーパーカット
- ③ ポインティングカット
- ④ セニングカット

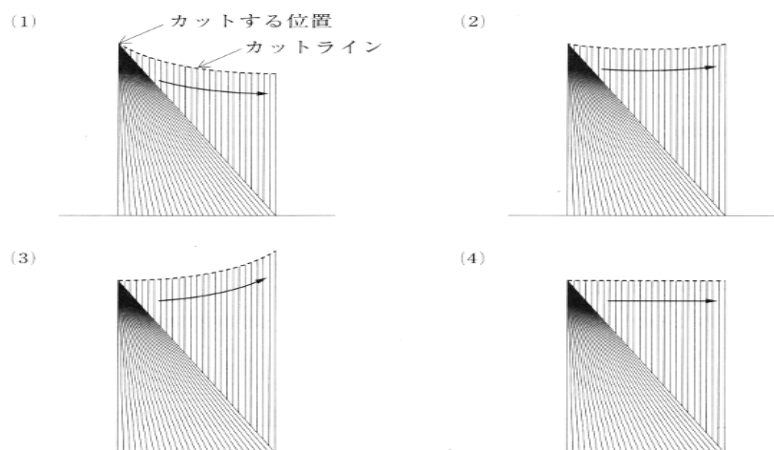
H29・春

問題 2 4 ヘアカットिंगのパネルに関する次の記述のうち、正しいものはどれか。

- ① ワンレングスカットは、1つの同じ長さを意味し、基本は水平ラインに切りそろえられたものをいう。
- ② グラデーションカットは、ダウンステムでパネルをシェーブするため、トップショートロングエンドになる。
- ③ レイヤーカットは、オンベースでパネルをシェーブするため、ショートスタイルに多く用いられる。
- ④ セイムレングスカットは、アップステムでパネルをシェーブするため、頭部の形がそのままヘアスタイルのシルエットになる。

H30・春

問題 2 6 毛先を集めてカットする位置とカットラインの関係を表した下図のうち、正しいものはどれか。



H30・後期

問題 2 7 ヘアカットिंगに関する次の記述のうち、正しいものはどれか。

- ① ブロッキングの基礎分割線で頭部を前後に2分する線を正中線という。
- ② ブロッキングの基礎分割線で左右の耳の上の生え際を横に結び、頭部を上下に2分する線をイヤーツーイヤーラインという。
- ③ 作業中に目線の高さを調節する場合は、膝を伸ばして、背筋を曲げて対応するとよい。
- ④ 右から左へ下がるラインを切る場合は、右肘を上げ、カットラインに合わせるよい。

H31・前期

問題28 グラデーションカットに関する次の記述のうち、正しいものの組合せはどれか。

- a グラデーションの幅の大小は、シェーブするパネルの角度の大小によって決まる。
- b 上層ほど毛髪が長く、カットラインは水平になる。
- c 全体をほぼ同じ長さにするので、頭部の形がそのままヘアスタイルのシルエットを形成する。
- d 下部の層に比べ上部の層ほど毛髪が長く、最も長い毛髪の部分がボリュームの頂点になる。

- ① aとb ② bとc ③ cとd ④ aとd

H31・後期

問題29 カットに関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

- ① ワンレングスカットは、毛髪をすべて同一線上でできる技法である。
- ② グラデーションカットのグラデーションの幅の大小は、シェーブするパネルの角度の大小によって決まる。
- ③ レイヤーカットは、ボリュームを調整してスタイルに立体感をあたえる技法である。
- ④ セイムレングスカットは、ロングスタイルのカットに多く用いられる。

R2・前期

問題30 ヘアカットに関する次の記述のうち、正しいものはどれか。

- ① ワンレングスカットはすべてを同一線上で切り、水平ライン、前下がりのライン、後ろ下がりのラインがある。
- ② グラデーションカットは長さの異なる毛髪の層を重ね合わせるカット技法で、段カットともよばれている。
- ③ レイヤーカットは上部の層ほど毛髪が長く、スタイルのバリエーションが少ない。
- ④ セイムレングスカットは上層より下層が長く、ウルフカットやサーファーカットが有名である。

問題31 セニングカットに関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

- ① 間引きするように毛量を減らして調整するカット技法である。
- ② 分け目の部分にはセニングし過ぎないようにする。
- ③ 横パネルには直角にシザーズを入れるとよい。
- ④ セニングシザーズでグラデーション状に毛量調整することにより、丸みを出しながら量感を減らすことができる。

R2・後期

問題32 ヘアカットにおけるパネルの角度とシルエットの関係に関する次の記述のうち、正しいものはどれか。

- ① アップステムでシェーブしてカットした場合、トップショートロングエンドとなり、スタイルに立体感を与える。
- ② ダウンステムでシェーブしてカットした場合、シルエットは、骨格に沿った均等なものになる。
- ③ 毛髪をすべて自然に落ちる位置にシェーブしてカットした場合、頭部の形がそのままヘアスタイルのシルエットを形成する。
- ④ オンベースにシェーブしてカットした場合、カットラインは水平となる。

問題33 レザーカットの技法に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

- ① テーパーカットは、毛髪を削いで先細りにするカット技法であり、テーパーする深さ・面・方向により技術が分類される。
- ② セニングカットは、間引きすることによって毛量調整を行うカット技法である。
- ③ ディープテーパーカットは、毛先から1/3ほどをテーパーするカット技法である。
- ④ ポインティングカットは、毛先を不揃いに尖らせ、ヘアスタイルに遊びや変化をもたせるカット技法である。

R3・前期

問題34 ヘアカットの姿勢に関する次の記述のうち、正しいものはどれか。

- ① 左サイドの前上がりラインを切る場合は、右肘を上げるとよい。
- ② 右から左へ下がるラインを切る場合は、左肘を下げるとよい。
- ③ 目線の高さを調節する場合は、背筋を曲げて対応するとよい。
- ④ 着る対象に対して、握りこぶし1つ分の間隔をおいて立つとよい。

問題35 刃物の材料に関する次の記述のうち、正しいものはどれか。

- ① 炭素鋼には鉄が2%含まれている。
- ② ステンレス鋼にはクロムが5%含まれている。
- ③ 炭素鋼はコバルト鋼に比べて加工性がよい。
- ④ 炭素鋼はステンレス鋼に比べてさびに強い。

R3・後期

問題36 次のヘアスタイルのうち、アップステムでパネルをシェーブしてカットしたものはどれか。

- ① ワンレングススタイル
- ② グラデーションスタイル
- ③ レイヤースタイル
- ④ セイムレングススタイル

問題37 レザーカット技法に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

- ① エンドテーパーカットは、生え際やパート際、毛量が少ない場合に用いられる。
- ② ノーマルテーパーカットは、毛先1/3ほどをテーパーする技法である。
- ③ ディープテーパーカットは、根元近くからテーパーする技法である。
- ④ ポインティングカットは、パネルの内側の面をテーパーする技法である。

R4・前期

問題38 ヘアカットに関する次の記述のうち、正しいものはどれか。

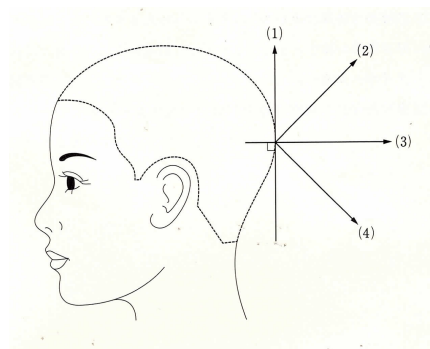
- ① ワンレングスカットは、頭皮に対してパネルを直角に引き出し、全体をほぼ同じ長さに切るカット技法である。
- ② グラデーションカットは、パネルをダウンステムでシェーブした場合、最も長い毛髪の部分がボリュームの頂点となる。
- ③ レイヤーカットは、頭部の形がそのままヘアスタイルのシルエットとなる。
- ④ セイムレングスカットは、毛髪が自然に落ちる位置にパネルをシェーブし、毛髪を同一線上で切るカット技法である。

問題39 セニングカットに関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

- ① セニングカットとは、毛髪上でシザーズを開閉しながらすべらせることで毛量調整する技法である。
- ② デザインの構成上表面にあたる部分や分け目の部分は、セニングしすぎないようにする。
- ③ レイヤー状に毛量調整すると、フラット感を与えながら量感を減らすことができる。
- ④ グラデーション状に毛量調整すると、丸みを出しながら量感を減らすことができる。

R4・後期

問題40 下図は、パネルと頭皮の角度を表したものである。ダウンステムに該当するものはどれか。



R5・前期

問題41 シザーズによるカット技法に関する次の記述のうち、正しいものはどれか。

- ① ブラントカットとは、カッティングされたラインを修整する技法である。
- ② ポインティングカットとは、毛髪を直線でぶつ切りにする技法である。
- ③ スライドカットとは、毛先を穂先のような状態にする技法である。
- ④ トリミングカットとは、毛量を減らして調整する技法である。

R5・後期

問題42 刃物の材料に関する次の記述のうち、正しいものはどれか。

- ① 鉄に炭素を加えると加工性が低下する。
- ② ステンレス鋼は、炭素鋼に比べてさびに弱い。
- ③ コバルト鋼は、炭素鋼に比べて摩耗に強い。
- ④ ステンレス鋼には、クロムが約3～6%含まれている。

問題43 レザーカット技法に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

- ① ディープテーパーカットは、根元近くからテーパーする技法である。
- ② ボスサイドテーパーカットは、パネルの外側と内側の両面をテーパーする技法である。
- ③ ポインティングカットは、パネルの外側をテーパーする技法である。
- ④ ノーマルテーパーカットは、毛先から長さの1/3ほどをテーパーする技法である。

問題44 カッティングにおけるパネルに関する次の記述のうち、正しいものはどれか。

- ① パネルの面を頭皮面に対して90度に引くことを、オンベースという。
- ② パネルの幅が同じ場合は、パネルの長さが短いほうがカットラインの長さの誤差が小さくなる。
- ③ パネルの長さが同じ場合は、パネルの幅が広いほうがカットラインの長さの誤差が小さくなる。
- ④ セイムレングスカットの場合は、アップステムでパネルをシェーブする。

R6・後期

問題45 次のテーパーカットのうち、テーパーする深さにより分類されるカット技法はどれか。

- ① アウトサイドテーパーカット
- ② ノーマルテーパーカット
- ③ インサイドテーパーカット
- ④ レフトサイドテーパーカット

- 問題1 パーマネントウェーブ用剤に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。
- ① 2浴式コールドウェーブの第1剤（1液）は、還元作用をもつチオグリコール酸またはその塩類にアルカリ剤を加えた溶液が主である。
 - ② システインパーマネントウェーブは、2浴式コールドウェーブの第1剤（1液）の主剤であるチオグリコール酸またはその塩類のかわりに還元剤としてシステインを用いている。
 - ③ 加温式パーマネントウェーブは、チオグリコール酸系とシステイン系の2浴式がある。
 - ④ 1浴式コールドウェーブは、チオグリコール酸またはその塩類の濃度やアルカリ剤の量を高レベルに設定してある他は2浴式とは変わらない。
- 問題2 パーマネントウェーブに関する次の記述のうち、正しいものはどれか。
- ① 加温式パーマネントウェーブは、60℃以下の熱で作用を促進することによりパーマネントウェーブをかける。
 - ② システインパーマネントウェーブは、第1剤（1液）の主剤として還元作用が強いチオグリコール酸を用いている。
 - ③ 2浴式コールドウェーブは、第2剤（2液）の主剤に酸化作用のあるシステインを用いている。
 - ④ 第1剤（1液）用時調製発熱2浴式パーマネントウェーブは、近年普及し始めている。
- 問題3 パーマネントウェーブにおいて、直径12mmのロッドを使用してフルウェーブを作る場合、最も適した毛髪の長さは次のうちどれか。
- ① 5.7cm
 - ② 6.6cm
 - ③ 9.4cm
 - ④ 11.3cm
- 問題4 パーマネントウェーブ用剤に関する次の記述のうち、正しいものはどれか。
- ① コールド2浴式の製品は、スチーマーや赤外線等で加熱しても使用できる。
 - ② 加温2浴式の製品による仕上がりは、加温時間と作用時間の長さに関係しない。
 - ③ 皮膚が過敏な人には、保護クリームを使用し、パーマネントウェーブ用剤が直接皮膚につかないようにする。
 - ④ パーマネントウェーブ用剤は、必要があれば他の化粧品と混合したりすることができる。
- 問題5 パーマネントウェーブ技術におけるテストカールでみる適正カールに関する次の記述のうち、正しいものはどれか。
- ① 使用したロッドの直径の3倍以上のカール径を目安とする。
 - ② 使用したロッドの直径の2.5倍のカール径を目安とする。
 - ③ 使用したロッドの直径の2倍のカール径を目安とする。
 - ④ 使用したロッドの直径の2倍未満のカール径を目安とする。
- 問題6 パーマネントウェーブに関する次の記述のうち、正しいものはどれか。
- ① 吸水性毛は、水分の吸収はよいが、薬液をはじきパーマがかかりにくい。
 - ② 求めるウェーブ幅の大小は、ロッドの太さに関係しない。
 - ③ つけ巻きとは、カラーリングや残存ウェーブのあるところに状況に応じてトリートメントを塗布することである。
 - ④ パーマネントウェーブのかかりにくい部分から塗布する。
- 問題7 毛髪の組織結合に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。
- ① ポリペプチド結合は毛髪の繊維を形成するアミノ酸の結合である。
 - ② シスチン結合は、チオグリコール酸などの還元剤では切断されない結合である。
 - ③ イオン結合は、プラスとマイナスが引き合ってできる結合で、塩結合ともいう。
 - ④ 水素結合は、水分により切断され、乾燥することにより結合する。
- 問題8 パーマネントウェーブ施術でフルウェーブを形成するために必要なロッドの回転数は、次のうちどれか。
- ① 1.5回転
 - ② 2回転
 - ③ 2.5回転
 - ④ 3回転

- 問題9 パーマネントウェーブに関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。
- ① パーマネントウェーブのかかりにくい部分から塗布する。
 - ② 形成されるフルウェーブは、使用するロッドの3回転分の毛髪の長さが必要である。
 - ③ ロッドをベース内に巻きおさめるためには、ステムの中心の角度を90度にする。
 - ④ テストカールは、第1剤（1液）がどの程度毛髪に作用しているか調べるために行う。

- 問題10 2浴式コールドウェーブに関する次の記述のうち、正しいものはどれか。
- ① 第1剤（1液）の主成分であるアルカリ剤は、毛髪を膨潤させる。
 - ② 第1剤（1液）の酸化剤により、シスチン結合を切断する。
 - ③ 第1剤（1液）の主成分には、臭素酸塩や過酸化水素が用いられる。
 - ④ 第2剤（2液）の還元剤として、システインが用いられる。

- 問題11 パーマネントウェーブに関する次の文章のうち（ ）内に入る語句の組み合わせのうち、正しいものはどれか。
『ウェーブの大小は、（ A ）の（ B ）によって決定され、パーマネントウェーブ用剤で形成されるフルウェーブは使用するロッドの（ C ）回転分の毛髪の長さが必要である。』

A	B	C
① 放置時間	長さ	3
② スライス幅	厚さ	2. 5
③ ロッド	太さ	3
④ テンション	強さ	2. 5

- 問題12 パーマネントウェーブに関する次の記述のうち、正しいものはどれか。
- ① 施術前に使用するシャンプー剤は、オイル分の多いものは適さない。
 - ② 施術前の毛髪診断は、シャンプー前に一度だけ行えばよい。
 - ③ 撥水性毛は、吸水性毛と比べて薬液の吸収は悪いが、パーマネントウェーブのかかりはよい。
 - ④ 2剤塗布後、キャップをかぶせて放置する。

- 問題13 パーマネントウェーブに関する次の記述のうち、正しいものはどれか。
- ① 施術前の毛髪診断は、ドライヘアの状態で行う。
 - ② 施術前のシャンプーは、アルカリ性タイプが適している。
 - ③ はっ水性毛は、薬剤を吸収し、パーマがかかりやすい。
 - ④ パーマネントウェーブは、2浴式コールドタイプが多く用いられている。

- 問題14 縮毛矯正に関する次の記述のうち、正しいものの組み合わせはどれか。
- a 毛髪をパネルなどに貼り付けてコーミングすると効果が高い。
 - b 縮毛矯正剤には、高温整髪用アイロンを使用するものもある。
 - c コーミングの際、必要以上にテンションを加えると断毛の原因となる。
 - d 根元の部分から第1剤（1液）を塗布し、根元からウェーブやくせ毛、ちぢれ毛をのばす。
- ① aとb ② bとc ③ cとd ④ aとd

- 問題15 パーマネントウェーブにおけるアフターリンスの目的に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。
- ① 酸化によりシスチンの再結合を促し、結合をより完全なものにする。
 - ② 施術中に脱脂した油分をヘアトリートメント剤で補う。
 - ③ アルカリ性になっている毛髪を酸性リンスでもとの健康な毛髪に戻す。
 - ④ アルカリ分を中和し、膨潤した毛髪を収れんさせる。

- 問題16 パーマネントウェーブに関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。
- ① 毛髪の大部分は、ケラチンとよばれるタンパク質からできている。
 - ② アンモニアは、アルカリ剤として用いられている。
 - ③ システインは、還元剤として用いられている。
 - ④ チオグリコール酸は、酸化剤として用いられている。

問題17 パーマネントウェーブ用剤の主成分とはたらきに関する次の組合せのうち、誤っているものはどれか。

- ① 還元剤 —— シスチン結合を切断し、毛髪に可塑性を与える。
- ② 還元剤 —— 毛髪を膨潤させ、パーマ剤の浸透を促す。
- ③ アルカリ剤 — 還元を促進する。
- ④ 酸化剤 —— 酸素を与えることにより、シスチンの再結合を促す。

問題18 パーマネントウェーブに関する次の記述のうち、正しいものはどれか。

- ① 施術の前の毛髪診断は、パーマネントウェーブの残存状態がよく分かるシャンプー前のドライヘアで判断する。
- ② 吸水性毛は、水分は吸収するが、薬液をはじくのでパーマネントウェーブがかかりにくい。
- ③ パーマネントウェーブのかかりにくい部分から塗布する。
- ④ カラーリングや残存ウェーブがあり、かかりすぎるおそれのある毛髪には、あらかじめ第1剤（1液）を塗布し、薬液の作用をセーブする。

問題19 パーマネントウェーブ技術に関する次の記述のうち、正しいものはどれか。

- ① テストカールで見る適正カールは、カール径が使用したロッドの直径の約1.5倍を基本とする。
- ② 中間水洗は、第2剤（2液）を完全に洗い流し、アフターリンスのはたらきを効果的にする。
- ③ ワインディングのロッドを巻き込むステムの角度が頭皮に対して90度のとき、最もボリュームが出る。
- ④ アフターリンスでは、施術中に脱脂した油分をヘアトリートメント剤で補う。

問題20 パーマネントウェーブ技術のテストカールに関する次の記述のうち、正しいものはどれか。

- ① テストカールは、第2剤（2液）がどの程度毛髪に作用しているかを調べる。
- ② ウェーブの大小は、テンションや放置タイムの長短、使用する薬液によって決まる。
- ③ オーバータイムの場合は、カール径がロッドの2.5倍以下となり、毛髪は弾力性を失う。
- ④ 水巻きの場合は、パーマがかかりやすいのでテストカールを行う必要がない

問題21 パーマネントウェーブに関する次の記述のうち、正しいものはどれか。

- ① 毛先は根元に比べパーマがかかりにくい。
- ② かかりにくいおそれのある毛髪には、トリートメント巻きを行う。
- ③ 均一なウェーブを求める場合は、最初から最後まで一定のテンションでロッドを巻く。
- ④ ネープの部分は、上から見下ろしてスライスすると、スライス幅が狭くなりやすい。

問題22 システインタイプのパーマネントウェーブに関する次の文章の（ ）内に入る語句の組合せのうち、正しいものはどれか。
「第1剤（1液）の主剤であるチオグリコール酸の代わりに（ A ）としてシステインを用いる。チオグリコール酸に比べ（ B ）が弱く、（ C ）も低いが、毛髪の損傷修復などのはたらきがある。」

- | | A | B | C |
|-------|-----|-----|--------|
| ① 還元剤 | 酸化力 | 還元力 | 復元力 |
| ② 還元剤 | 還元力 | 還元力 | ウェーブ効率 |
| ③ 酸化剤 | 酸化力 | 酸化力 | ウェーブ効率 |
| ④ 酸化剤 | 還元力 | 還元力 | 復元力 |

問題23 パーマネントウェーブに関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

- ① 第1剤は、パーマネントウェーブのかかりにくい部分から塗布する。
- ② 第1剤がどの程度毛髪に作用しているかを調べることをウェーブチェックという。
- ③ 中間水洗の目的は、第1剤を洗い流して、第2剤のはたらきを効果的にすることである。
- ④ 第2剤の酸化作用によりウェーブが固定される。

問題24 パーマネントウェーブの施術上の留意事項に関する次の記述のうち、正しいものの組み合わせはどれか。

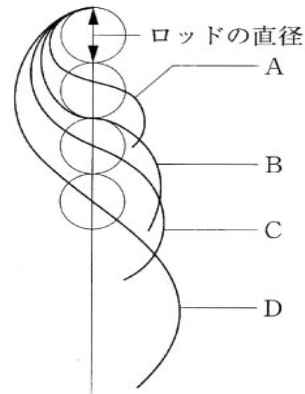
- a 体質や現在の体調は聞く必要はないが、過去の薬剤を使用した施術の履歴は必ず確認する。
 - b パーマネントウェーブの残存状態は、必ず乾いた髪で確認する。
 - c 薬剤による施術で損傷のあるダメージヘアは、ダメージの程度と部分を確認する。
 - d シャンプー時に毛髪の水分吸収度合いをチェックし、薬剤選定の目安とする。
- ①aとb ②bとc ③cとd ④aとd

問題25 パーマネントウェーブ施術前に行うカウンセリング等に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

- ① これまでのパーマネントウェーブやヘアカラーの履歴を聞くことが必要である。
- ② 毛質や毛髪の状態を観察し、使用する薬剤や技術の選定基準にする。
- ③ パーマネントウェーブの残存状態は、毛髪が乾いた状態のほうが判断しやすい。
- ④ 体質や現在の体調を聞くことは、技術を決めたり、未然の事故防止のためにも重要である。

問題26 下図は、パーマネントウェーブ技術のテストカールで見るウェーブの状態を表したものである。
適正カールに該当するものはどれか。

- ① A
- ② B
- ③ C
- ④ D



問題27 パーマネントウェーブに関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

- ① かかりにくい新生部には、あらかじめ第1剤を塗布し、ワインディング後に再び第1剤を塗布するつけ巻き法を用いるとよい。
- ② パーマ剤で形成されるフルウェーブには、使用するロッドの3回転分の毛髪の長さが必要である。
- ③ 第1剤塗布後の放置タイムは、髪質によっても異なるがキャップをかぶせて10分前後を目安に様子を見るとよい。
- ④ 吸水性毛は、水分は吸収するが、薬液ははじくのでパーマネントウェーブはかかりにくい。

問題28 パーマネントウェーブ技術に関する次の記述のうち、正しいものはどれか。

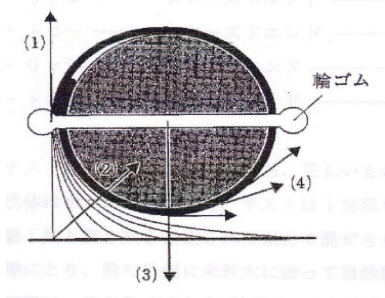
- ① 根元の新生部は、毛先に比べパーマがかかりやすい。
- ② あらかじめ毛髪に第1剤を塗布し、ワインディング後に再び第1剤を塗布する方法を水巻きという。
- ③ かかりすぎるおそれのある毛髪には、つけ巻きが適している。
- ④ カラーリングや残存ウェーブがあるところには、状態に応じてトリートメント剤を塗布して第1剤の作用をセーブする。

問題29 パーマネントウェーブのテストカールに関する次の記述のうち、正しいものはどれか。

- ① テストカールにより第2剤がどの程度毛髪に作用しているかチェックする。
- ② テストカールは、ネープ最下部の細めのロッドで判断する。
- ③ ウェーブの大小は、ロッドの太さによって決まる。
- ④ タイム不足の場合、カール径がロッドの直径の2.5倍以下となる。

問題30 下図は、ワインディングのロッドにかかるさまざまな力を表したものである。

この図の中で、「髪につやと美しいウェーブをもたせるために毛束を引く力」を表しているものはどれか。



問題31 パーマネントウェービングに関する次の記述のうち、正しいものはどれか。

- ① フルウェーブを形成するのに必要な毛髪の長さは、使用するロッドの3回転分である。
- ② ウェーブの大小は、第1剤塗布後の放置タイムによって決まる。
- ③ 毛先は根元に比べ、パーマがかかりにくい。
- ④ かかりにくい部分には、トリートメント巻きを用いるとよい。

問題32 パーマネントウェーブ技術に関する次の記述のうち、正しいものはどれか。

- ① 中間リンスは、役割を終えた第2剤を洗い流すために行う。
- ② ロッドアウト後のプレーンリンスは、ぬるま湯で手早く簡単にすませる。
- ③ アフターリンスの目的の1つには、酸性成分を中和し毛髪を膨潤させるということがある。
- ④ アフターリンスの目的の1つには、施術中に脱脂した油分をヘアトリートメントで補うということがある。

問題33 パーマネントウェーブ技術に関する次の記述のうち、正しいものはどれか。

- ① 吸水性毛は薬剤をはじき、パーマがかかりにくい。
- ② 施術前のシャンプーは、刺激が少ないシャンプー剤がよい。
- ③ パーマがかかりすぎるおそれのある毛髪の場合は、つけ巻きをするとよい。
- ④ テストカール時の適正カールの直径は、ロッドの直径の1.5倍である。

問題34 パーマネントウェービングに関する次の記述のうち、正しいものはどれか。

- ① つけ巻きは、毛髪をウェットの状態でワインディング後、第1剤を塗布する方法である。
- ② トリートメント巻きは、薬剤の作用をセーブし、かかりすぎないようにするために行う。
- ③ フルウェーブには、使用するロッドの2回転分の毛髪の長さが必要である。
- ④ テストカールは、第2剤の塗布後に行う。

問題35 次のうち、パーマネントウェーブ技術において直径10 mmのロッドでフルウェーブを形成する場合に必要な毛髪の長さはどれか。

- ① 約11.3 cm
- ② 約9.4 cm
- ③ 約8.5 cm
- ④ 約7.5 cm

問題36 パーマネントウェーブ技術に関する次の記述のうち、正しいものはどれか。

- ① 毛髪診断は、シャンプーの前の毛髪が乾いた状態のみで行う。
- ② 毛髪をウェットの状態でワインディングした後、第1剤を塗布する方法を、つけ巻きという。
- ③ ウェーブの大小は、第1剤塗布後の放置タイムのみによって決まる。
- ④ テストカール時の適正カールの直径は、使用したロッドの直径の2.5倍である。

問題37 パーマネントウェービング技術に関する次の記述のうち、正しいものはどれか。(R6後期)

- ① ワインディングする前に、フェイスラインに保護クリームを塗る。
- ② 撥水性毛は、パーマがかかりやすい。
- ③ テストカールは、第2剤塗布後に行う。
- ④ テストカール時の適正カールの直径は、使用したロッドの直径の約2.5倍である。

問題1 ウェーブとループの関係でハーフウェーブが幅3 cmの場合、スカルプチュアカールでウェーブをつくると、ループの直径は次のうちどれか。

- ① 1. 0 cm
- ② 1. 5 cm
- ③ 2. 0 cm
- ④ 2. 5 cm

問題2 カールピンニングに関する次の記述のうち、正しいものはどれか。

- ① スカルプチュアカールは、アメリカピンが頭皮に対して直角になるようにし、ループをしっかりと固定する。
- ② メイポールカールは、ステムとループの下面を留め、オニピンによるクロスピンニングでループをしっかりと固定する。
- ③ クロックノールカールの毛量が多い場合は、ステムの方向に沿ってループを作り、片面うちにし、ステムとループをしっかりと固定する。
- ④ リフトカールは、ループとステムをしっかりと固定するため、ループの上から両面打ちにする。

問題3 ウェーブとループの関係についての次の文章の（ ）内に入る語句の組み合わせのうち、正しいものはどれか。
「ベースをとるためのスライス線は、ウェーブ幅の（ A ）であり、ループの直径はウェーブ幅の（ B ）、カールスペースはウェーブ幅の（ C ）となる。」

- | | A | B | C |
|---|-----|-----|-----|
| ① | 1/2 | 1/3 | 1/3 |
| ② | 1/2 | 2/3 | 1/3 |
| ③ | 1/3 | 2/3 | 1/2 |
| ④ | 1/3 | 1/3 | 1/2 |

問題4 スキップウェーブに関する次の文章の（ ）内に入る語句の組み合わせのうち、正しいものはどれか。
「ウェーブ幅を3 cmとしたときに、ループの直径は（ A ）cmとなり、カールスペース分の（ B ）cmは下のフィンガーウェーブに加える。そのためフィンガーウェーブの幅はちょうどカール（ C ）個分の幅になる。」

- | | A | B | C |
|---|------|---|------|
| ① | 1. 5 | 2 | 1. 5 |
| ② | 1. 5 | 1 | 2 |
| ③ | 2 | 1 | 2 |
| ④ | 2 | 2 | 1. 5 |

問題5 ブロードライスタイリングに関する次の記述のうち、正しいものはどれか。

- ① ブロードライスタイリングの最初の過程は、毛髪全体をオーバードライの状態にする。
- ② パーマネントウェーブを残しながらブローするときは、目の密なロールブラシ類を使用してテンションを加える。
- ③ 風の吹き出し口は、頭皮から毛先の方向に向け、乾いた毛髪が乱れ飛ばないようにする。
- ④ 根元に立ち上がりを付ける場合、パネルの内角は45度になるようにブラシを持ち上げパネルの裏面に入れブローする。

問題6 ヘアカーリングに関する次の記述のうち、正しいものの組み合わせはどれか。

- a カールの巻き方の方向で、右巻き（時計の針の進む方向）に巻かれているカールをカウンター・クロックワイズワインドカールという。
- b ターンステムは、1つのムーブメントを2個以上のピンカールで大きく構成するものである。
- c ストランドカールは、あらかじめベースをかたち取って巻くものであり、ベースを取らないで巻くのをシェーピングカールという。
- d 耳介に沿って上から下の方向に巻かれたものをリバースカールという。

- ① aとb ② bとc ③ cとd ④ aとd

問題7 次のカールのうち、スタンドアップカールに属するものはどれか。

- ① スカルプチュアカール
- ② リフトカール
- ③ メイポールカール
- ④ ラリアットカール

問題8 下図は、カールの巻き方の方向による種類を表したものである。次のうち、正しい組み合わせはどれか。

Cは、クロックワイズワインドカール CCは、カウンター・クロックワイズワインドカール

- | | イ | ロ | ハ | ニ |
|---|----|----|----|----|
| ① | CC | C | CC | C |
| ② | CC | CC | C | C |
| ③ | C | CC | C | CC |
| ④ | C | C | CC | CC |



※Cは、クロックワイズワインドカール
CCは、カウンター・クロックワイズワインドカール

問題9 スkipウェーブの記述でスカalpチュアカールとフィンガーウェーブに関する次の文章の（ ）内に入る長さの正しいものの組み合わせはどれか。

「ウェーブ幅を3cmとしたときにループの直径は（ A ）となり、カールスペース分（ B ）は、下のフィンガーウェーブに加わる。そのためフィンガーウェーブの幅は、（ C ）幅になる。」

- | | A | B | C |
|---|-----|-----|-----|
| ① | 2cm | 2cm | 3cm |
| ② | 2cm | 1cm | 4cm |
| ③ | 1cm | 2cm | 3cm |
| ④ | 1cm | 1cm | 4cm |

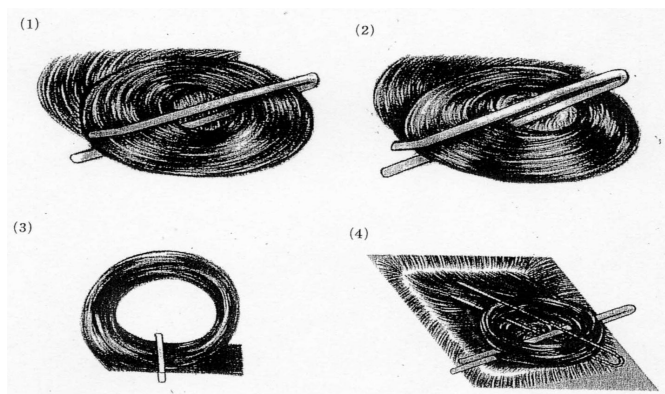
問題10 ヘアセッティングに関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

- ① バックコーミングは、1つのストランドにコームを使い、根元から毛先に向かってとかす。
- ② ヘアセッティングは、オリジナルセットを行い、次にリセットを行うという2つのプロセスに分けて1つのスタイルをつくる。
- ③ アップスタイルは、セミロングやロングヘアのように長い毛髪をまとめ上げるスタイルである。
- ④ ヘアピースには、頭部の一部をおおうものやヘアスタイルの補助的なパーツとして使うものがある。

問題11 次のカールの種類のうち、フラットカールに属する組み合わせとして、正しいものはどれか。

- ① スカルプチュアカール・・・リフトカール・・・バレルカール
- ② スカルプチュアカール・・・クロッキノールカール・・・メイポールカール
- ③ メイポールカール・・・リフトカール・・・クロッキノールカール
- ④ メイポールカール・・・クロッキノールカール・・・バレルカール

問題12 下図はカールピンニングを表したものである。両面うちに該当するものは、①～④のうちどれか。



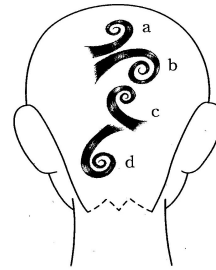
問題13 ローラーカーリングのステムの角度に関する次の文章のうち（ ）内に入る語句の組み合わせのうち、正しいものはどれか。

「ストランドの中心が頭皮に対して手前側が（ A ）度になるようにシェーブしてローラーを巻くと、ローラーはベースの（ B ）におさまる（ C ）となる。この角度はもっともボリュームがでる。」

- | | A | B | C |
|---|-----|------|----------|
| ① | 90 | 1/2外 | オンベース |
| ② | 135 | 中央 | オンベース |
| ③ | 90 | 中央 | 1/2オフベース |
| ④ | 135 | 1/2外 | オフベース |

問題14 カールの巻き方に関する下図のa、b、c、dのうち、カウンター・クロックワイズワインドカールに該当する組み合わせはどれか。

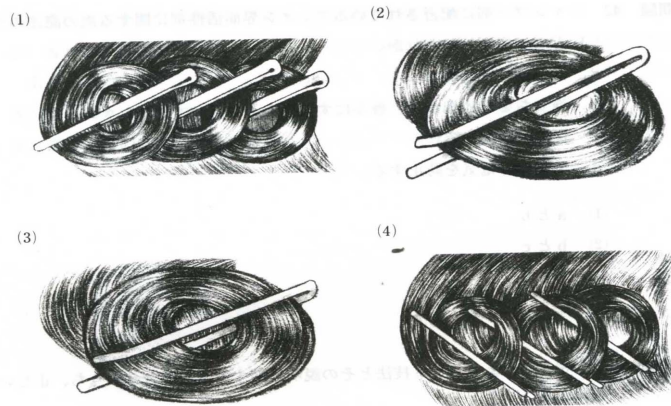
- ① aとb
- ② bとc
- ③ cとd
- ④ aとd



問題15 ブロードライに関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

- ① ブロードライスタイリングの最初の過程は、毛髪全体を生乾きの状態にすることである。
- ② 温風は、一ヶ所に長くあてるとよい。
- ③ 簡単なスタイリングは、目の粗いコームやブラシを使う。
- ④ 風の吹き出し口は、頭皮から毛先の方向に向ける。

問題16 下図はカールピンニングを表したものである。クローズドピンニングに該当するものは、次のうちどれか。



問題17 バックコーミングに関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

- ① シルエットや流れを固定してデザインを保つ。
- ② ボリュームを求める。
- ③ 毛髪に自在感を与える。
- ④ ストランドの根元から毛先に向かって毛流をとかす。

問題19 ヘアピースのシャンプーと手入れ法に関する次に記述のうち、誤っているものはどれか。

- ① ブラッシングやコーミングは、根元の方から徐々に毛先の方へとていねいに行う。
- ② 人毛100%の場合、専用のシャンプー剤を使用し、少しウェットでセットする。
- ③ 人工毛100%の場合、必ず水で洗い、自然乾燥で仕上げる。
- ④ 人毛と人工毛のミックスの場合、シャンプー後はリンスやトリートメントで仕上げ、必ず陰干しをする。

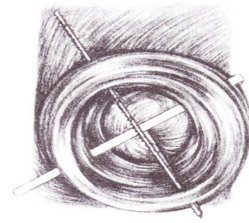
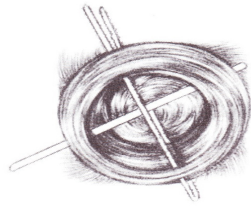
問題20 カールの形状に関する次の記述のうち、正しいものはどれか。

- ① リフトカールは、ステムを90度に立ち上げて巻き収めなければならない。
- ② スカルプチュアカールは、中巻き方式カールの代表的なもので、毛先に強い弾力が得られる。
- ③ メイポールカールは、ストランドの根本から巻かれ、仕上がりでは根元の部分に強い弾力が得られる。
- ④ クロッキノールカールは、根元のウェーブ幅が狭く、毛先になるほどウェーブ幅が広くなる。

問題 2 1 下図は、ストランドカールのベースを表したものである。ステムをオーバーラップさせやすいため、仕上がりが割れにくくなるのは、次のうちどれか。

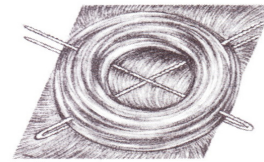
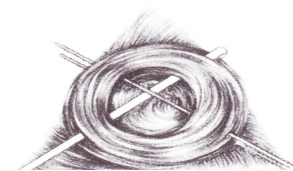
(1) スクエアベース

(2) オブロングベース



(3) トライアングラーベース

(4) パラレログラムベース



問題 2 2 バックコーミングに関する次の記述のうち、正しいものの組み合わせはどれか。

- a コームの歯を使うバックコーミングは、できるだけ大きいストロークで行う。
- b 一つの毛束にコームを使い、根元から毛先に向かって毛髪をとかす。
- c シルエットや流れを固定し、デザインを保つ。
- d 毛髪に自在感を与え、コームアウトを容易にする。

① a と b ② b と c ③ c と d ④ a と d

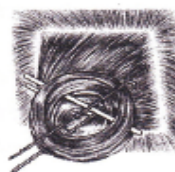
問題 2 3 ヘアセッティングに関する次の記述のうち、正しいものの組み合わせはどれか。

- a 耳介に沿って巻かれたカールをリバースカールという。
- b 右サイドにおけるカウンター・クロックワイズwindカールは、フォワードカールである。
- c スキップウェーブとは、フィンガーウェーブとスカルプチュアカールが交互に配置されたものをいう。
- d ストランドの中心が頭皮に対して90度になるようシェーブしてローラーを巻くとベースの中央におさまる、オンベースとなる。

① a と b ② b と c ③ c と d ④ a と d

問題 2 4 右図はピンカール技術の巻きおさめを表したものである。
次のうち、クロッキノールカールに該当するものはどれか。

(1)



(2)



(3)

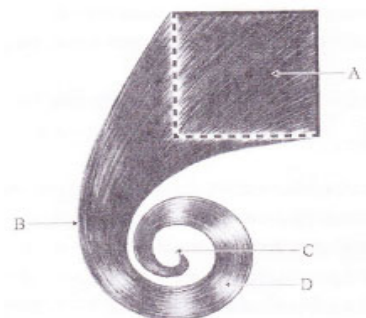


(4)



問題 2 5 下図はカールの各部の名称を表したものである。B に該当するものは、次のうちどれか。

- ① ループ
- ② ピボットポイント
- ③ ベース
- ④ エンドオブカール

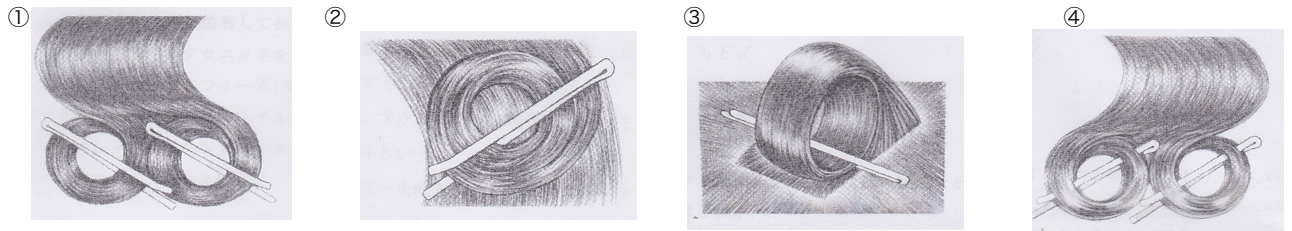


問題26 カールウェーブに関する次の文章の（ ）内に入る語句の組合せのうち、正しいものはどれか。

「求めるウェーブ幅が3cmの場合、ループの（ A ）は2cmとなる。ループの直径はウェーブ幅の（ B ）、カールスペースはウェーブ幅の（ C ）となる。」

- | | A | B | C |
|------|-------|-------|---|
| ① 直径 | — 1/2 | — 2/3 | |
| ② 半径 | — 2/3 | — 2/3 | |
| ③ 直径 | — 2/3 | — 1/3 | |
| ④ 半径 | — 1/2 | — 1/3 | |

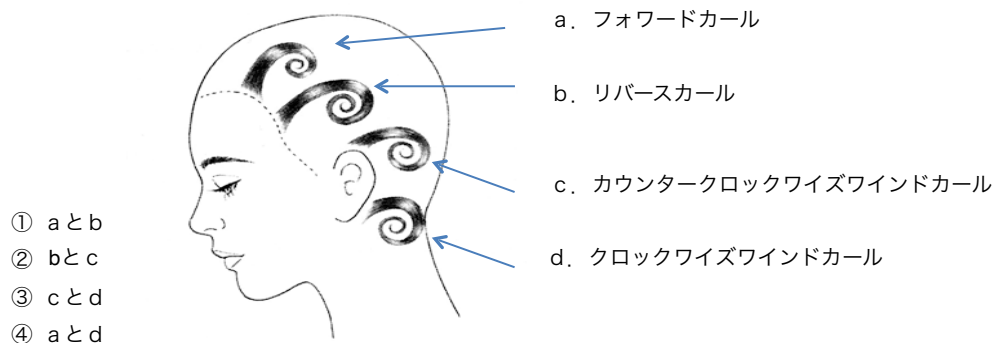
問題27 下図はカールピニングを表したものである。オープンエンド側からの両面打ちに該当するものは、次のうちどれか。



問題28 カールのステムに関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

- ① ステムの方向は、毛髪の流れを左右する。
- ② ステムの方向と角度を一つに結びつけるところをピボットポイントとよぶ。
- ③ メイポールカールは、ステムの角度が0度に近いフラットなカールである。
- ④ カールステムは、ピボットポイントからループまでの部分をいう。

問題29 下図はカールの巻かれる方向を表したものである。カールの名称として正しいものの組合せは、次のうちどれか。



問題30 ストランドカールのベースの種類に関する次の記述のうち、正しいものはどれか。

- ① オブロングベースは、ステムが短く、額の生え際に適している。
- ② スクエアベースは、ステムが長く、方向も決めやすい。
- ③ パラレログラムベースは、コームアウトした際に放射状の広がりができる。
- ④ トライアングラーベースは、コームアウトした際に割れ目ができにくい。

問題31 スキップウェーブに関する次の記述のうち、正しいものはどれか。

- ① スキップウェーブは、必ずスカルプチュアカールから作り始める。
- ② スキップウェーブは、フィンガーウェーブとスカルプチュアカールが交互に配置されている。
- ③ スキップウェーブは、ハーフウェーブを巻く方向が同じ2つ以上のピンカールで構成されている。
- ④ スキップウェーブは、右巻きと左巻きのカールが交互に配置されている。

問題32 ヘアセッティングに関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

- ① ピンカールは、完全に乾いてほぐすと、ループの直径の1.5倍のハーフウェーブが得られる。
- ② カールを巻くとき、テンションを加えることでヘアスタイルを長持ちさせることができる。
- ③ クロッキノールカールは、中巻き方式のカールである。
- ④ 頭部右側でクロックワイズwindカールは、リバースカールでもある。

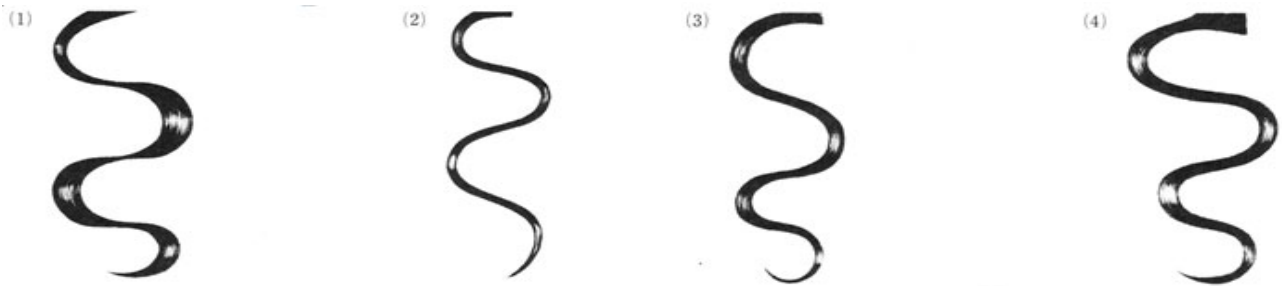
問題33 カールが巻かれる方向による分類に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

- ① 頭部左側では、リバースカールは、クロックワイズwindカールである。
- ② 頭部右側では、カウンター・クロックワイズwindカールは、フォワードカールである。
- ③ 毛髪が右巻きに巻かれているカールをクロックワイズwindカールという。
- ④ 耳介に沿って上から下に巻かれたものをフォワードカールという。

問題34 リフトカールに関する次の記述のうち、正しいものはどれか。

- ① ベースの底辺だけをスライスしながら巻くシェーピングカールである。
- ② スtrandの角度を頭皮に対して45度以上に持ち上げて巻く。
- ③ ループをスライス線より下の位置におさめなければならない。
- ④ フラットカールに分類される。

問題35 ピンカールのピンを取ったところを表した下図のうち、スカルプチュアカールに該当するものはどれか。



問題36 カールステムに関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

- ① ステムの方向は毛髪の流れを左右し、角度は仕上がり時のボリュームに関係する。
- ② ステムの方向と角度を1つに結びつけることをピボットポイントとよぶ。
- ③ 同じ方向のステムでは、角度が変わってもピボットポイントは変わらない。
- ④ メイポールカールは、ステムの角度が0度に近いフラットなカールである。

問題37 ヘアカリングのステムに関する次の文章の（ ）内に入る語句の組み合わせのうち、正しいものはどれか。

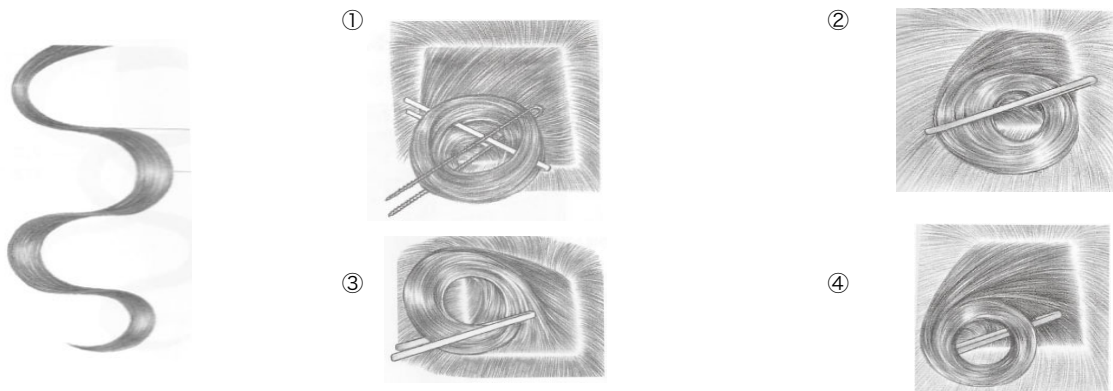
「シェーブされたstrandには、1つのステムと1つの角度がある。strandでカールを巻くとき、ステムの（ A ）は毛流れを左右し、（ B ）は仕上がりの（ C ）に関係する。」

- | | A | B | C |
|---|-------|----|-------|
| ① | ボリューム | 位置 | 角度 |
| ② | 位置 | 方向 | 長さ |
| ③ | 方向 | 角度 | ボリューム |
| ④ | 角度 | 長さ | 方向 |

問題38 カールステムに関する次の記述のうち、正しいものはどれか。

- ① ステムの角度は、毛髪の流れを左右する。
- ② ステムの方向と角度を1つに結び付けるところをstrandという。
- ③ メイポールカールは、ステムの角度が0度に近いフラットカールである。
- ④ カールステムとは、ピボットポイントからループまでをいう。

問題39 下図はピンカールのピンを取ったところを表したものである。このカールウェーブを作るためのピンカールは、次のうちどれか。



問題40 ヘアウェービングに関する次の文章の（ ）内に入る語句の組合せのうち、正しいものはどれか。
『カールスペースをつくるベースを取るためのスライス線は、ウェーブ幅の（ A ）であり、ループの直径はウェーブ幅の（ B ）、カールスペースはウェーブ幅の（ C ）となる。』

- ① 1/3・・・1/2・・・2/3
- ② 1/2・・・2/3・・・1/3
- ③ 1/3・・・2/3・・・2/3
- ④ 1/2・・・1/2・・・1/3

問題41 メイポールカールに関する次の文章の（ ）内に入る語句の組合せのうち、正しいものはどれか。
『ストランドの（ A ）から巻かれるため、毛先の（ B ）は広く（ C ）は弱い。カールを巻く際にベースの周囲を一定の形や大きさにスライスしてつくる（ D ）に分類される。』

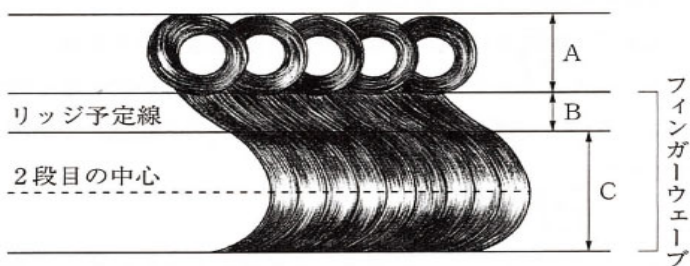
A B C D

- ① 根元・・・ウェーブ幅・・・弾力・・・ストランドカール
- ② 根元・・・トロー・・・立ち上がり・・・シェーピングカール
- ③ 毛先・・・トロー・・・弾力・・・ストランドカール
- ④ 毛先・・・ウェーブ幅・・・立ち上がり・・・シェーピングカール

問題42 下図はスキップウェーブを表したものである。A.B.Cの長さに関する次の組合せのうち、正しいものはどれか。

A B C

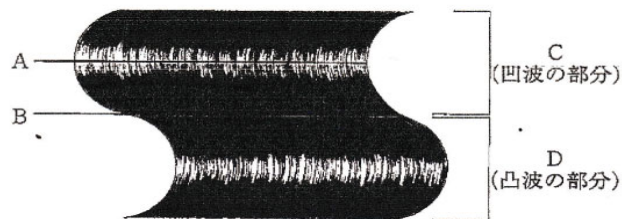
- ① 2cm・・・1cm・・・4.5cm
- ② 2cm・・・1.5cm・・・4cm
- ③ 3cm・・・1cm・・・4cm
- ④ 3cm・・・1.5cm・・・4.5cm



問題43 下図は、ヘアウェーブを表したものである。ABCに該当する名称の組合せのうち、正しいものはどれか。

A B C D

- ① トロー リッジ クローズドエンド オープンエンド
- ② リッジ トロー クローズドエンド オープンエンド
- ③ トロー リッジ オープンエンド クローズドエンド
- ④ リッジ トロー オープンエンド クローズドエンド



問題44 カールステムに関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。
① ステムの方向と角度を一つに結び付けるところをピボットポイントという。
② カールステムは、ベースからピボットポイントまでの部分をいう。
③ ステムの角度が0度に近いとフラットカールになる。
④ ステムの方向は、仕上がり時のボリュームに関係する。

問題45 ピンカールに関する次の組み合わせのうち、正しいものはどれか。

- ① スカルプチュアカール・・・根元巻き方式
- ② リフトカール・・・ストランドカール
- ③ メイポールカール・・・シェーピングカール
- ④ クロッキノールカール・・・中巻き方式

問題46 次のピンカールのうち、ストランドの根元から巻きはじめ、根元に強いカールがあらわれるものはどれか。

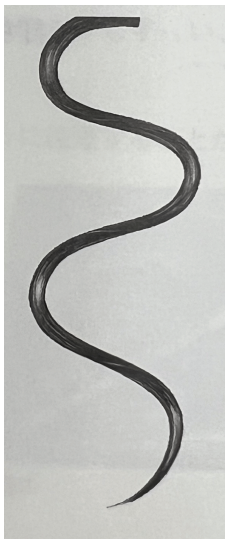
- ① スカルプチュアカール
- ② リフトカール
- ③ メイポールカール
- ④ クロッキノールカール

問題47 次のストランドカールのベースの種類のうち、ステムをオーバーラップさせやすいものはどれか。

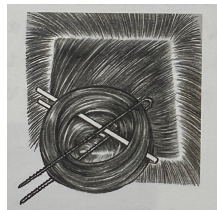
- ① スクエアベース
- ② オブロングベース
- ③ パラレログラムベース
- ④ トライアングラーベース

問題48 図1は、ピンカールのピンを取ったところを表したものである。
このカールウェーブをつくるためのピンカールは、次のうちどれか。

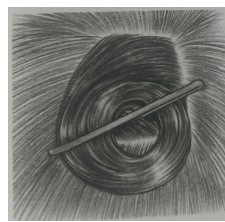
(図1)



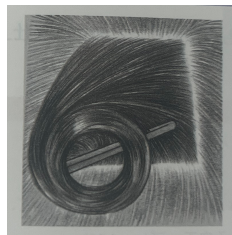
①



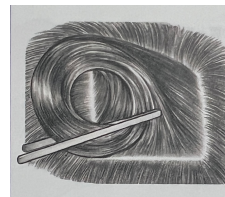
②



③



④



問題49 ローラーカーリングに関する次の記述のうち、正しいものはどれか。

- ① 毛先を中心に集めて巻くと、できたウェーブは平行な広がりを持ち、応用性に富んだムーブメントが得られる。
- ② 生え際で毛髪の立ち上がりを求める場合は、ベースを厚くとるとよい。
- ③ ストランドの中心が頭皮面に対して90度の角度になるようシェーブして巻くと、最もボリュームが出る。
- ④ ダウンステムでボリュームを抑える場合は、ベースを厚めにするとローラーのおさまりがよい。

問題50 ピンカールに関する次の文章の（ ）内に入る語句の組み合わせのうち、正しいものはどれか。(R6後期)

「カールの巻き方には、毛先に近い方から巻いて毛先が内側になる場合と、根元の方から巻いて毛先が外側になる場合とがある。毛先が内側の場合は毛先のウェーブ幅が（ A ）、根元になるほど幅が（ B ）なり、その代表的なカールとして、（ C ）がある。」

ABC

- ① 狭く 広く クロッキノールカール
- ② 広く 狭く メイポールカール
- ③ 狭く 広く メイポールカール
- ④ 広く 狭く クロッキノールカール

問題1 ヘアカラーリングの名称に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

- ① 永久染毛剤は、ヘアマニキュアとよばれる。
- ② 一時染毛料は、テンポラリーヘアカラーとよばれる。
- ③ 脱色剤は、ヘアブリーチとよばれる。
- ④ 半永久染毛料は、セミパーマメントヘアカラーとよばれる。

問題2 ヘアカラーに関する次の記述のうち、ヘアマニキュアに該当するものはどれか。

- ① 染毛成分を頭毛の毛小皮に近い部分の皮質にまで浸透させ、染毛する。
- ② 着色成分を頭毛の表面のみに付着させて、一時的に染毛する。
- ③ 染毛成分を頭毛の内部組織にまで浸透させて作用させ、長期的に染毛効果を維持する。
- ④ 着色成分を頭毛の内部組織にまで浸透させて、メラニン色素を脱色する。

問題3 ヘアカラーリングに関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

- ① 眉毛、まつ毛に行う場合は、薬液が目に入らないように技術を行う。
- ② 染毛剤の調合は使用直前に行い、使用後、残った薬液は捨てる。
- ③ 染毛の1週間前後にパーマメントウェーブをかけないのは、毛髪をいためたり、色落ちすることがあるからである。
- ④ 酸化染毛剤を使用するときは、必ずパッチテスト（皮膚貼付試験）を行うこと。

問題4 ヘアカラーリング技術の注意に関する次の記述のうち、正しいものはどれか。

- ① 酸化染毛剤を使用する場合はかぶれないので、パッチテストは行わなくてよい。
- ② 染毛と同時にパーマメントウェーブをかけても、問題はない。
- ③ お客様の要望があれば、眉毛を染毛してもよい。
- ④ 染毛剤の調合は、ヘアカラーリングの作業直前に行うのがよい。

問題5 ヘアカラーリングに関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

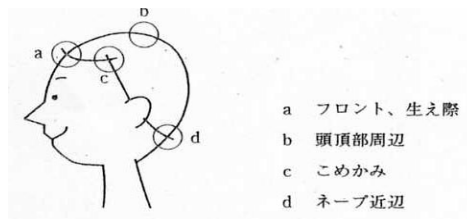
- ① パッチテスト（皮膚貼布試験）の途中でお客様が、かゆみ、刺激などの異常を訴えたら、ただちに洗い落とし酸化染毛剤は使用しない。
- ② 毛質の特徴として太く、硬く、撥水性がある黒い毛髪は、黄み系が出やすい。
- ③ バージンヘアの場合、頭皮の温度が高い根元より毛先の方が染まりにくい。
- ④ 放置時間がある程度経過した時点で、発色の状態を確認するためカラーチェックをする。

問題6 ヘアカラーに関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

- ① 一時染毛料・・・・・・・・・・一時的に毛髪の表面のみを着色する。
- ② 脱色剤・・・・・・・・・・毛髪のメラニン色素を脱色する。
- ③ 永久染毛剤・・・・・・・・・・染毛成分が毛小皮及び毛皮質の奥まで浸透する。
- ④ 酸化染毛剤・・・・・・・・・・パッチテスト（皮膚貼布試験）を必要としない。

問題7 酸化染毛剤のカラーリングの際、下図のa～dのうち、染まりにくい部分の組み合わせは、次のうちどれか。

- ① a と b
- ② b と c
- ③ c と d
- ④ a と d



- 問題 8 ヘアカラーリングに関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。
- ① 白髪染めは、フロントのフェースラインから薬液を塗布する。
 - ② おしゃれ染めは、明るくならにくいネーブ部分から薬液を塗布する。
 - ③ 毛髪には、染まりやすいところ、染まりにくいところがあるので塗布する順序や塗布量を調節する。
 - ④ 酸化染毛剤によるヘアカラーの放置時間は約 5 ～ 2 0 分で、ヘアブリーチの放置時間は約 2 0 ～ 4 0 分である。

- 問題 9 半永久染毛料の特徴に関する次の記述のうち、正しいものはどれか。
- ① 毛髪のメラニン色素は脱色されない。
 - ② 毛髪の表面のみを一時的に着色する。
 - ③ 染毛成分が毛小皮及び毛皮質の奥深くまで浸透し、長期にわたって染毛効果が持続する。
 - ④ 黒色の毛髪を明るい色に染毛することもできる。

- 問題 1 0 染毛剤のパッチテスト（皮膚貼付試験）に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。
- ① テスト液は、使用する染毛剤の 1 液と 2 液を混ぜ合わせてつくる。
 - ② 腕の内側にテスト液を 1 0 円硬貨大に薄く塗って自然乾燥させる。
 - ③ テスト液塗布後そのまま触れずに 7 2 時間放置する。
 - ④ 皮膚に異常があった場合には、すぐに洗い落とし染毛しない。

- 問題 1 1 ヘアブリーチに関する次の文章の（ ）内に入る語句の組み合わせのうち、正しいものはどれか。
「ヘアブリーチの作用は、アルカリ剤が（ A ）を分解して、水と酸素を発生させ、酸素が（ B ）を（ C ）して毛髪を明るくする。」

A	B	C
① 過酸化水素	シスチン結合	染色
② 酸化染料	メラニン色素	染色
③ 酸化染料	シスチン結合	脱色
④ 過酸化水素	メラニン色素	脱色

- 問題 1 2 半永久染毛料に関する次の記述のうち、正しいものはどれか。
- a シャンプーしても全く色落ちしない。
 - b 黒色の毛髪を明るい色に染毛することもできる。
 - c 皮膚に染まりやすく、付くと取れにくいことがある。
 - d 酸性カラー、ヘアマニキュア、カラーリンスなどと呼ばれている。
- ① a と b ② b と c ③ c と d ④ a と d

- 問題 1 3 アルカリ性タイプの酸化染毛剤の染毛技術に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。
- ① 白髪染めは、白髪の多い部分から塗り始める。
 - ② 毛髪の間中部から先に塗布し、希望色に近づいたら、ネーブから根元部分に塗布する。
 - ③ バージンヘアの場合、毛先は染まりにくく、根元は染まりやすいので毛先から先に塗布する。
 - ④ こめかみやフロントは、頭頂部に比べ染まりやすいので最後に塗布する。

- 問題 1 4 ヘアカラーの種類に関する次の組み合わせのうち、正しいものはどれか。
- ① 永久染毛剤 ・ ・ ・ ・ ・ カラースティック
 - ② 半永久染毛料 ・ ・ ・ ・ ・ ヘアマニキュア
 - ③ 一時染毛料 ・ ・ ・ ・ ・ ヘアブリーチ
 - ④ 酸化染毛料 ・ ・ ・ ・ ・ カラーリンス

- 問題15

ヘアブリーチに関する次の文章の（ ）内に入る語句の組み合わせのうち、正しいものはどれか。
『ヘアブリーチの作用は、アルカリ剤が（ A ）を分解して、水と活性酸素を発生させ、活性酸素が（ B ）を（ C ）して毛髪を明るくする。』

A

B

C

① 過酸化水素・・・・・・・・・・シスチン結合・・・・・・・・・・染色

② 酸化染料・・・・・・・・・・メラニン色素・・・・・・・・・・染色

③ 過酸化水素・・・・・・・・・・メラニン色素・・・・・・・・・・脱色

④ 酸化染料・・・・・・・・・・シスチン結合・・・・・・・・・・脱色

問題17

次のうち、半永久染毛料はどれか。

① おしゃれ染め

② カラースティック

③ ヘアマニキュア

④ ヘアライトナー

問題18

ヘアカラーリングに関する次の記述のうち、正しいものはどれか。

① 毛髪は染まりやすいところと染まりにくいところがあるので、塗布する順序を変えるが、塗布量は変える必要はない。

② パッチテストは、染毛する48時間前に肌の柔らかい部分に第1剤（1液）を塗布して異常がないことを確認する。

③ 皮膚のかぶれを起こすおそれがあれば眉毛、まつ毛にも染毛剤を塗布することができる。

④ 染毛剤によるかぶれを防ぐために、施術前には毎回、必ずパッチテストを行う。

問題20

ヘアカラーの毛髪のレベルとアンダートーンに関する次の記述のうち、正しいものはどれか。

① 人の毛髪のメラニン色素には、黄褐色と緑褐色の2種類がある。

② アンダートーンとは、毛髪がもつ下地の色みのことをいう。

③ 毛髪は、メラニン色素の含有量が多いと明るくなる。

④ 日本人の毛髪のナチュラルレベルは、7前後が多い。

問題21

酸化染毛剤の技術に関する次の記述のうち、正しいものはどれか。

① 全体を暗く染める場合には、毛髪の明るいフロント部分から塗布する。

② 染まりにくい毛髪では、染毛剤の1剤と2剤の割合を変える。

③ もみ上げやフロントは、頭頂部に比べて染まりやすいので最後に塗布する。

④ バージンヘアの場合、毛先は染まりやすいので根元から先に塗布する。

問題22

ヘアカラーリングの毛髪チェックに関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

① 毛質、新生部と既染部の割合、頭皮の状態等をチェックする。

② ドライヘアとウェットヘアで判断し、水分の吸収度合をチェックする。

③ 毛髪の明るさのレベルチェックをする。

④ 白髪の量に応じてそのカバー色が変わるので、白髪の割合をチェックする。

問題23

ヘアカラーリングにおける色の基本に関する次の記述のうち、正しいものはどれか。

① プライマリーカラーを全て同じ分量で混ぜると、お互いの色を打ち消し、ニュートラルな茶色になる。

② カラーサークルの補色どうしを混合すると、色味を感じない明るいグレーになる。

③ 最も明度が高いのは白で、最も低いのは黒である。

④ 彩度の高い色とは、くすんだ色のことをいう。

問題24

ヘアカラーに関する次の文章の（ ）内に入る語句の組合せのうち、正しいものはどれか。
「アルカリ性タイプの（ A ）は、（ B ）と（ C ）を同時に行うので、（ D ）を考えて、染毛剤を選定する。」

A

B

C

D

① 金属性染毛剤 脱色 染毛 アンダートーン

② 酸化染毛剤 脱染 染毛 プライマリーカラー

③ 金属性染毛剤 脱染 染色 プライマリーカラー

④ 酸化染毛剤 脱色 染色 アンダートーン

問題2 5 毛質と酸化染毛剤によるカラーリングに関する次の記述のうち、正しいものはどれか。

- ① 硬く太い毛質は、色が明るく出やすい。
- ② 軟らかく細い毛質は、赤み系が出やすい。
- ③ 吸水性のある毛質は、希望色より明度の低い染毛剤を選択する。
- ④ はっ水製のある毛質は、吸水性のある毛質より染毛剤の塗布量を少なめにする。

問題2 6 酸化染毛剤に関する次の記述のうち、正しいものの組み合わせはどれか。

- a シャンプーしても色落ちが少ない。
 - b 色持ちが約2～4週間である。
 - c カブレや毛髪の傷みはない。
 - d 1回の使用でしっかり染まる。
- ①aとb ②bとc ③cとd ④aとd

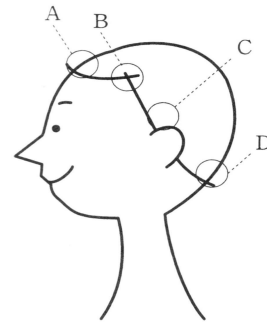
問題2 7 酸化染毛剤の技術手順に関する次の記述の（ ）内に入る語句の組合せのうち、正しいものはどれか。

「（ A ） → 毛髪診断 → 色の選定 → プロテクトとブロッキング → 染毛剤の調合 → （ B ） → カラーチェック → （ C ） → シャンプー」

- | | A | | B | | C |
|---|--------|----|-------|----|----|
| ① | パッチテスト | —— | 塗布と加温 | —— | 乾燥 |
| ② | パッチテスト | —— | 塗布と放置 | —— | 乳化 |
| ③ | シャンプー | —— | 塗布と加温 | —— | 乾燥 |
| ④ | シャンプー | —— | 塗布と放置 | —— | 乳化 |

問題2 8 右図のA～Dのうち、酸化染毛剤による染毛の際に、染まりやすい部位はどれか。

- ① A
- ② B
- ③ C
- ④ D



問題2 9 ヘアカラーに関する次の記述のうち、正しいものはどれか。

- ① 酸性染毛料は、汗で色落ちしない。
- ② 酸性染毛料は、黒色の毛髪を明るい色にすることができる。
- ③ 酸化染毛剤には、植物の葉や花などの色素を原料としたものがある。
- ④ 酸化染毛剤は、永久染毛剤に分類される。

問題3 1 色に関する次の記述のうち、正しいものはどれか。

- ① 毛髪に損傷のある部分には、希望色より明度の高い染毛剤を多めに塗布する。
- ② 全体を暗く染める場合は、毛髪の明るいフロントの部分から塗布する。
- ③ 染まりやすいもみ上げやフロントは、最後に塗布する。
- ④ バージンヘアの毛先は染まりやすいので、根元から塗布する。

問題3 2 アルカリ性タイプの酸化染毛剤によるヘアカラーリングに関する次の記述のうち、正しいものはどれか。

- ① 細毛や軟毛などは、黄み系が出やすいので、希望色より明度の低い染毛剤を用いるとよい。
- ② 白髪は染まりやすいので、白髪染めの場合、白髪の少ない部分から塗布する。
- ③ 放置時間の目安は、ヘアカラーの場合、約5～20分で、5分おきにテストする。
- ④ 放置時間がある程度経過した時点で、皮膚や発色の状態を確認するためパッチテストを行う。

問題3 3 ヘアカラーの種類と特徴に関する次の記述のうち、正しいものはどれか。

- ① 脱染剤は、毛髪のメラニン色素を脱色する目的の薬剤である。
- ② 酸化染毛剤は、黒色の毛髪を明るい色に染毛することもできる。
- ③ ヘアマニキュアは、永久染毛剤に分類される。
- ④ 一時染毛料の色もちは、2～4週間である。

問題34 染毛剤のパッチテストに関する次の記述のうち、正しいものはどれか。

- ① 染毛剤による抗体はすぐにできるので、テストは1回限りでよい。
- ② テスト液は、第1剤と第2剤を指定された割合で混ぜ合わせてつくる。
- ③ テスト液を綿棒にとり、腕の外側に米粒大に塗って自然乾燥させる。
- ④ テスト部位の観察は、塗布後すぐと24時間後の2回行う。

問題35 ヘアカラーの色選びに関する次の文章の（ ）内に入る語句の組み合わせのうち、正しいものはどれか。

「（A）どうしを混ぜるとお互いの色みを消し合うので、黄色く退色した毛髪の色を消してナチュラルな毛髪の色に仕上げたいときは、（B）の色素をもつヘアカラーで染め、赤みのある毛髪の色を消してナチュラルな毛髪の色に仕上げたいときは、（C）の色素をもつヘアカラーで染めるのがよい。」

- | | A | B | C |
|---|-----------|----|-------|
| ① | プライマリーカラー | 赤色 | 青色 |
| ② | 補色 | 緑系 | オレンジ系 |
| ③ | プライマリーカラー | 青色 | 黄色 |
| ④ | 補色 | 紫系 | 緑系 |

問題36 色の基本に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

- ① プライマリーカラー（色の三原色）とは、赤、黄、青の3色である。
- ② 明度は色の明るさのことで、彩度は色の鮮やかさのことである。
- ③ 明度と彩度が組み合わさった調子を色のトーンという。
- ④ プライマリーカラーを2色ずつ混合したものをカラーサークル（色相環）という。

問題37 酸化染毛剤に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

- ① カラーチェックは、1カ所で行う。
- ② 頭髮全体を明るくする場合は、細かいブロックに分けて、ネープから塗布する。
- ③ おしゃれ染の場合は、先に中間部と毛先に塗布し、希望色に近づいたら根元部分に塗布する。
- ④ 白髪は染まりにくいので、多い部分から塗布し、放置時間を長めにする。

問題38 酸化染毛剤を用いたヘアカラーリングに関する次の文章の（ ）内に入る語句の組み合わせのうち、正しいものはどれか。

『太くて硬く、黒い毛髪の場合は、（ A ）が出やすく、明るさは（ B ）ので、希望色より明度の（ C ）染毛剤を選択するとよい』

- | | A | B | C |
|---|-----|------|----|
| ① | 赤み系 | 出にくい | 高い |
| ② | 黄み系 | 出やすい | 低い |
| ③ | 黄み系 | 出にくい | 高い |
| ④ | 赤み系 | 出やすい | 低い |

問題39 ヘアカラー製品に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

- ① 永久染毛剤には、酸化染毛剤と非酸化染毛剤がある。
- ② 一時染毛料は、シャンプーイングしても色落ちしない。
- ③ 半永久染毛料の持ちは、約2～4週間である。
- ④ 脱色剤の刺激により接触皮膚炎を起こすことがある。

問題40 次のヘアカラーのうち、赤みのある毛髪をナチュラルな毛髪の色に近づけたい時に用いるものはどれか。

- ① 赤系のヘアカラー
- ② 青系のヘアカラー
- ③ 紫系のヘアカラー
- ④ 緑系のヘアカラー